

武蔵村山市 ひとり親家庭 ニーズ調査 報告書

【調査対象】ひとり親家庭

ひとり親ニーズ



令和6年3月
武蔵村山市

目次

I	調査の概要	1
1	調査の目的	1
2	調査対象	1
3	調査期間	1
4	調査方法	1
5	回収状況	1
6	調査結果の表示方法	1
II	結果の概要	2
1	回答者の状況	2
2	家族構成	2
3	住居の状況	3
4	養育費と面会交流	3
5	就労の状況	4
6	資格の取得	5
7	収入	6
8	子どもの状況	6
9	困りごとや悩みごと	7
10	支援制度の認知と利用意向、情報の入手方法	8
III	調査結果	9
1	回答者属性	9
2	仕事（就労）について	18
3	収入について	31
4	お子さんについて	34
5	お困りのことについて	40
6	支援制度について	47
IV	主な自由意見	53
1	生活・住まいについて	53
2	就労について	53
3	子どもの教育について	54
4	その他	54

I 調査の概要

1 調査の目的

ひとり親家庭への支援など、市の子どもに関する計画づくりの参考とすることを目的として実施したものです。

2 調査対象

令和5年11月時点でひとり親家庭の方

3 調査期間

令和5年12月1日から12月22日まで

4 調査方法

郵送配布・郵送回収及びインターネット回答

5 回収状況

	配布数	有効回答数	有効回答率
ひとり親家庭	859 通	265 通 (うち WEB 60 通)	30.8%

6 調査結果の表示方法

- ・回答は各質問の回答者数を基数とした百分率（%）で示してあります。また、小数点以下第2位を四捨五入しているため、内訳の合計が100.0%にならない場合があります。
- ・複数回答が可能な設問の場合、回答者が全体に対してどのくらいの比率であるかという見方になるため、回答比率の合計が100.0%を超える場合があります。
- ・クロス集計の場合、無回答を排除しているため、クロス集計の有効回答数の合計と単純集計（全体）の有効回答数が合致しないことがあります。なお、クロス集計とは、複数項目の組み合わせで分類した集計のことで、複数の質問項目を交差して並べ、表やグラフを作成することにより、その相互の関係を明らかにするための集計方法です。

II 結果の概要

1 回答者の状況

- ひとり親家庭となった理由は、79.2%が「離婚」
「離婚」の割合が79.2%と最も高くなっています。【問7（14ページ）】
- ひとり親家庭の89.1%は「母子家庭」
「母子世帯」の割合が89.1%、「父子世帯」の割合が10.9%となっています。【問2（9ページ）】
- 母子世帯及び父子世帯ともに40代が最も多い
「40代」の割合が42.3%、次いで「30代」の割合が29.4%、「50代以上」の割合が20.4%となっています。【問1（9ページ）】
- 武蔵村山市での居住の理由では「親族」の存在が大きい
「自分の親族がいるから」の割合が33.2%、次いで「職場（仕事の場所）が近いから」の割合が14.0%、「都営住宅・市営住宅があるから」の割合が10.9%となっています。
【問5-2（12ページ）】

2 家族構成

- 「高校生」の割合が37.7%
「高校生」の割合が37.7%、次いで「中学生」の割合が32.1%、「小学4～6年」の割合が24.9%となっています。【問3（9ページ）】
- ひとり親家庭の30.9%が親と同居
「あなたの母」の割合が19.2%、次いで「あなたの父」の割合が11.7%となっています。【問4（10ページ）】
- 武蔵村山市での居住年数は、「20年以上」の割合が高い
「20年以上」の割合が30.9%、次いで「15年～20年未満」の割合が17.4%、「9年～11年未満」の割合が12.1%となっています。【問5（10ページ）】

3 住居の状況

- 住まいの種類は、父母・祖父母と同居している人では「持ち家」の割合が、していない人では「都営住宅・市営住宅」「民間の賃貸住宅」の割合が高い。

「民間の賃貸住宅」の割合が29.1%、次いで「自分の持ち家」の割合が27.9%、「都営住宅・市営住宅」の割合が24.2%となっています。自分の父母・祖父母との同居状況でみると、父母・祖父母と同居している人では「親など親族の持ち家」の割合が55.9%と過半数となっている一方、父母や祖父母と同居していない人では「都営住宅・市営住宅」(29.1%)、「民間の賃貸住宅」(35.0%)となっています。【問5-3 (13 ページ)】

- ひとり親家庭では住まいにかかる費用の抑制がうかがえる

「6万円以上8万円未満」の割合が23.0%、次いで「0円(住まいに費用はかかっていない)」の割合が19.2%、「2万円以上4万円未満」の割合が12.5%となっています。【問5-5 (14 ページ)】

4 養育費と面会交流

- 養育費が支払われているかたは23.7%、取り決めをしていないかたは34.3%

「取り決めをしていない」の割合が34.3%、次いで「定期的に支払われている」の割合が23.7%、「取り決めをしているが、支払われていない」の割合が19.5%となっています。また、ひとり親家庭になってからの期間が長いほど、「取り決めをしているが、支払われていない」の割合が高くなる傾向がみられ、ひとり親家庭の期間が13年～15年未満では38.5%にのぼっています。【問7-1 (15 ページ)】

- ひとり親家庭の58.1%が面会交流の取り決めをしていない

「していない」の割合が58.1%、次いで「している(文書あり)」の割合が21.2%、「している(文書なし)」の割合が17.4%となっています。また、ひとり親家庭の期間が1年～2年未満では「している(文書あり)」の割合が42.1%であるのに対し、11年～13年未満では「していない」が87.5%で大半を占めています。【問7-4 (17 ページ)】

5 就労の状況

- 74.7%の方が、ひとり親家庭になったときに就労していた

「働いていた」の割合が74.7%、「働いていなかった」の割合が24.2%となっています。
【問8（18ページ）】

- ひとり親家庭になったことで働き始めた人は、全体では20.4%

ひとり親家庭になったことで「働き始めた」人の割合は20.4%、「転職した」人は23.0%となっています。養育費の支払状況別では、養育費の取り決めをしているが、支払われていない人では「働き始めた」人が37.0%、「転職した」人が39.1%と、全体より高くなっています。【問9（18ページ）】

- ひとり親家庭の働いていない理由は「健康不安」「求職中」「家事・育児」

「自分の健康に不安があるため」の割合が30.8%、次いで「求職中のため（今、仕事を探している）」、「家事・育児のため」の割合が11.5%となっています。【問11（20ページ）】

- ひとり親家庭は近隣で就労

就労場所は「多摩地区」の割合が44.4%、次いで「武蔵村山市内」の割合が40.6%となっています。【問12（20ページ）】

- ひとり親家庭で多い就労形態は「正社員・正職員」

「正社員・正職員」の割合が46.0%、次いで「パート・アルバイト」の割合が39.7%となっています。特に、養育費の取り決めをしているが、支払われていない人では「正社員・正職員」の割合が58.1%と全体よりも高くなっています。また、養育費の取り決めをしていない人では「パート・アルバイト」の割合が48.7%と、全体よりも高くなっています。【問12-1（21ページ）】

- 週あたりの平均就業時間は、「31時間～40時間」が33.9%となっている

週あたりの平均就業時間は、「31時間～40時間」の割合が33.9%、次いで「41時間～50時間」の割合が23.8%、「21時間～30時間」の割合が13.4%となっています。
【問12-3（22ページ）】

- ひとり親家庭では「今の仕事を続けたい」割合が高い

「今の仕事を続けたい」の割合は62.3%、「仕事を变えたい」人の割合は33.1%となっています。特に、自分の父母・祖父母と同居している人では「今の仕事を続けたい」の割合が72.2%と、全体より高くなっています。【問12-4（23ページ）】

- **仕事を変えたい大きな理由は「収入」**

「収入が少ない」の割合が 62.0%と高く、次いで「仕事の内容がよくない」、「自分の健康状態がわるくなる」の割合が 16.5%となっています。「収入が少ない」については、養育費の取り決めをしているが、支払われていない人では 77.8%と高くなっています。

【問 12-5 (24～25 ページ)】

- **子どもと一緒に時間が1日あたり3時間未満の人が 15.5%**

1日のうち子どもと一緒に時間が3時間未満と短い人の割合は、全体では 15.5%となっています。【問 12-2 (22 ページ)】

- **仕事を選ぶときの条件は「収入の額」の割合が 61.1%**

仕事を選ぶときの条件は「収入の額」の割合が 61.1%、次いで「仕事の場所が自宅に近い」の割合が 40.4%となっています。また、子どもの学年が低くなるにつれ「子育てに理解がある」の割合が高くなる傾向にあり、子どもが小学1～3年の人では 53.1%と半数以上を占めています。【問 13 (26 ページ)】

- **「仕事のため、子どもと過ごす時間が少ない」が 74.7%**

仕事と生活とのバランスについて「仕事のため、子どもと過ごす時間が少ない」と感じる回答は「よくある」が 37.0%、「ときどきある」が 37.7%となっています。【問 15 (30 ページ)】

6 資格の取得

- **とりたい資格は「パソコン・OA 関係」が多く、「費用」と「時間」が取得の悩み**

とりたい資格では、「パソコン・OA 関係」の割合が 15.1%、資格をとるにあたっての悩みや困りごとでは「費用がかかる」の割合が 59.5%と高く、次いで「資格をとるための時間がない」の割合が 56.5%、「自分の知識・学歴」の割合が 22.1%となっています。

【問 14・問 14-1 (27～30 ページ)】

7 収入

- 世帯の収入源では、80.8%が「勤労収入（パート等）」、18.1%が「養育費」

収入源は「勤労収入（パート等）」が 80.8%と最も多くなっており、「元配偶者等からの養育費」が 18.1%となっています。【問 17 (1) (33 ページ)】

- 世帯全員の年間収入「100～200 万円未満」の割合が 24.2%（税込）

「100 ～200 万円未満」の割合が 24.2%、次いで「200 ～300 万円未満」の割合が 21.5%、「300 ～400 万円未満」の割合が 10.9%となっています。【問 17 (2) (33 ページ)】

8 子どもの状況

- 平日の子どもの過ごし方は、「子どもだけで自宅にいる」に次いで「友だちと遊ぶ」

平日の子どもの過ごし方は、「子どもだけで自宅にいる」の割合が 48.2%、次いで「友だちと遊んでいる」の割合が 42.4%、「塾や習いごと」の割合が 26.5%となっています。特に、自分の父母・祖父母と同居していない人では「子どもだけで自宅にいる」が 58.2%と、全体より高くなっています。また、子どもの学年別等では、子どもの学年が高くなるにつれ「子どもだけで自宅にいる」の割合が高く、子どもが中学生の人で 58.8%、高校生の人で 60.5%となっています。【問 19 (35～36 ページ)】

- 必要とされている子どもの学習支援は、40.6%が「塾」、次いで「学校での補習」

必要とされている学習支援としては、「塾」の割合が 40.6%、次いで「学校での補習」の割合が 32.9%となっています。【問 19-2 (37 ページ)】

- 塾や習い事に通わせている人は 32.8%

塾や習い事に子どもを通わせている人は 32.8%、通わせていない人は 61.1%となっています。子どもの学年別等では、「通わせている」人は子どもが小学 1～3 年生で 34.7%、小学 4～6 年生で 50.0%であるのに対し、高校生では 29.0%と減少しています。【問 21 (38 ページ)】

- 塾や習い事に通わせていない理由は「費用がかかるため」が 69.8%

塾や習い事に子どもを通わせていない理由は「費用がかかるため」の割合が 69.8%と高くなっています。特に、子どもが小学 4～6 年の人では「費用がかかるため」が 96.8%を占めています。また、子どもが小学 1～3 年の人では「送迎などが大変」の割合が 41.9%と高くなっています。【問 21-1 (39 ページ)】

- 中学卒業後は「進学」が 80.7%

「進学している」の割合が 80.7%と最も高いのに対し、「働いている」は 7.9%となっています。働いている子どもは、全員が働くことを希望していましたが、このうち 1 名については、経済的な事情で働く必要があったと回答しています。【問 20 (37 ページ)・問 20-1 (37 ページ)】

9 困りごとや悩みごと

- 困りごとで最も多いのは「家計のこと」

保護者自身の困りごとでは、「家計のこと」の割合が 65.7%と高く、次いで「仕事のこと」の割合が 39.6%、「自分の健康のこと」の割合が 31.3%となっています。また、養育費の取り決めをしているが、支払われていない人では「家計のこと」が 82.6%となっており、全体より高くなっています。【問 22 (40 ページ)】

- 子育て等の悩みごとは子どものしつけや教育が 31.3%、子どもと接する・関わる時間がないが 27.9%

子育てや子どもとの関わりにおける悩みは、「子どものしつけ・教育」の割合が 31.3%と高く、次いで「悩んでいることは特にない」の割合が 29.1%、「子どもと接する・関わる時間がない」の割合が 27.9%となっています。子どもの学年別等では、子どもの学年が低くなるにつれ「勉強を教えてあげられない」「子どもにきつくあたってしまうことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。【問 23 (41 ページ)】

- 子どもに関する悩み事は、子どもの勉強・学力、子どもの進路が 41.5%

子どもに関する悩みは、「子どもの勉強・学力」が 41.5%、「子どもの進路（進学・就職）」の割合が 37.7%となっています。子どもの学年が小学 4～6 年、中学生では「子どもの勉強・学力」がそれぞれ 59.1%、58.8%と、全体よりも高くなっています。また、中学生では「子どもの進路（進学・就職）」が 61.2%と、全体より高くなっています。【問 24 (42 ページ)】

- 悩みごとを相談しないかた（14.0%）のうち 59.5%は相談できる人がいない

悩みごとの相談相手は、「自分の親族」が 47.9%、次いで「自分の友人・知人」の割合が 40.4%、「ママ友・パパ友」の割合が 20.8%となっています。相談しないかたが 14.0%みられ、そのかたの相談しない理由では「相談できる人がいない」の割合が 59.5%となっています。

【問 25・問 25-1 (43～44 ページ)】

10 支援制度の認知と利用意向、情報の入手方法

- **仕事に関する支援制度では「ハローワーク」の認知度が最も高い**

手当・資金及び医療費の助成に関する支援制度は、制度を知っているかたが多く認知度が高い状況にあります。一方で、子育て支援事業の支援制度のうち、子どもショートステイ事業で43.0%、家事育児支援サポーター事業で37.7%の人が「制度を知らなかった、利用したことがない、利用しない（できない）」と答えています。また、仕事の支援制度では『ハローワーク立川で「知っていた」が67.1%と高くなっています。【問27（47～50ページ）】

- **情報入手は現状・希望とも「市報」がトップ。今後はネット利用も望む**

子どもに関する施策や行事などの情報の入手方法については、現在、市報で受け取っているかたが70.2%で最も多く、今後受け取りたい方法も市報を選択したかたが52.1%となっています。情報入手経路における市報の役割が大きいことがわかります。今後受け取りたい方法では、ホームページ（26.0%）、SNS（26.0%）、メール（29.8%）といったネット利用を望む傾向もみられます。【問28（51ページ）】

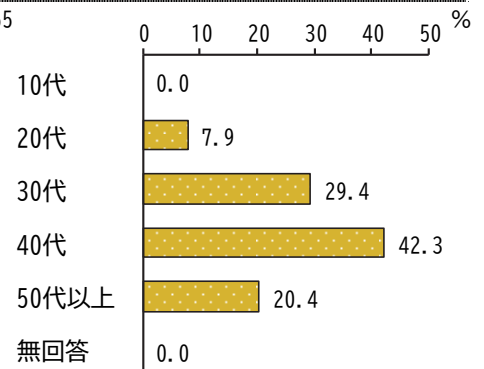
Ⅲ 調査結果

1 回答者属性

問1 あなたの年齢を教えてください。(1つに○)

「40代」の割合が42.3%と高く、次いで「30代」の割合が29.4%、「50代以上」の割合が20.4%となっています。

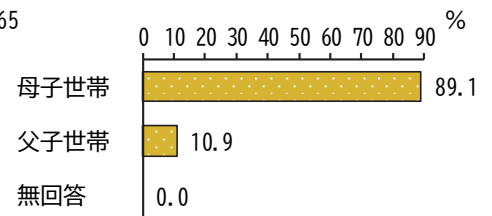
回答者数 = 265



問2 世帯について教えてください。(1つに○)

「母子世帯」の割合が89.1%、「父子世帯」の割合が10.9%となっています。

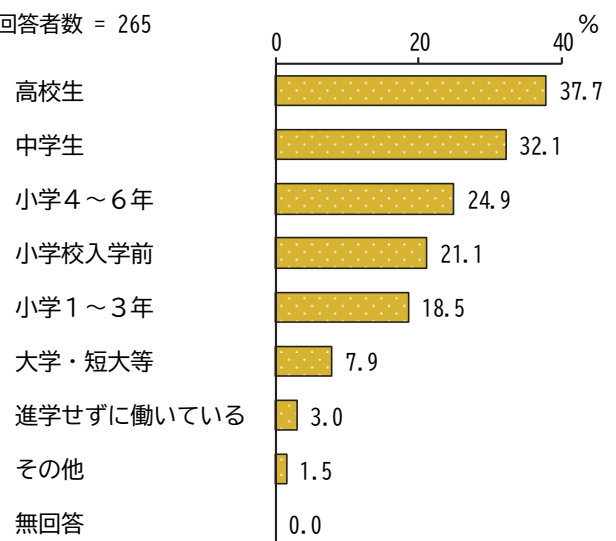
回答者数 = 265



問3 同じ家で暮らしている、20歳未満のお子さんの人数を教えてください。(あてはまるものすべてに○、○をした場合は人数(数字)を記入)

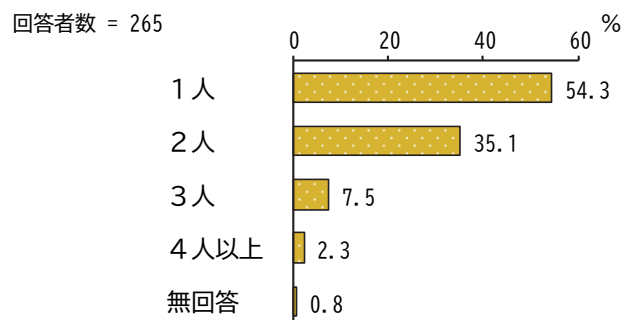
「高校生」の割合が37.7%と高く、次いで「中学生」の割合が32.1%、「小学4～6年」の割合が24.9%となっています。

回答者数 = 265



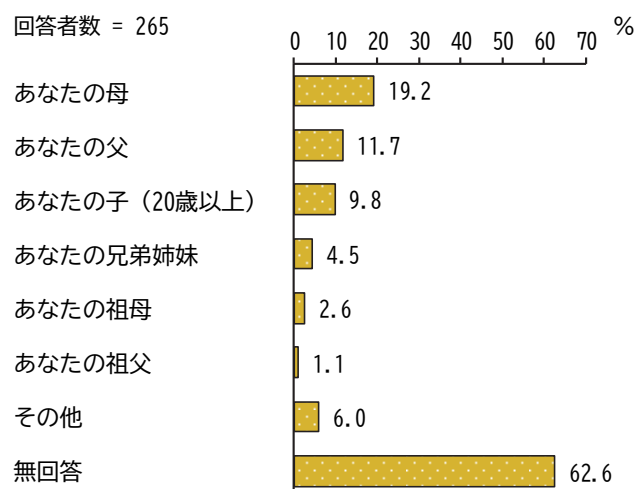
同居している 20 歳未満の子どもの人数

「1人」の割合が 54.3%と高く、次いで「2人」の割合が 35.1%となっています。



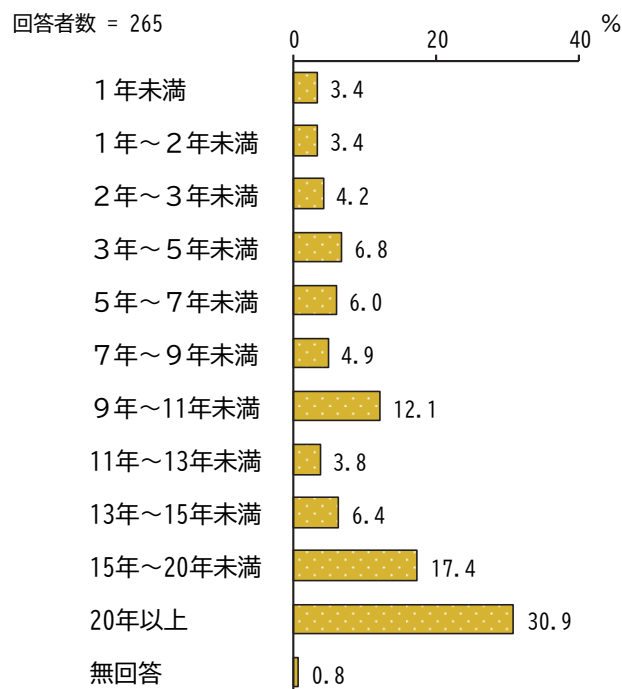
問4 20歳未満のお子さん以外に、同じ家で暮らしているのはどなたですか。
(あてはまるものすべてに○)

「あなたの母」の割合が 19.2%と高く、次いで「あなたの父」の割合が 11.7%となっています。



問5 武蔵村山市にお住まいになってから何年くらいになりますか。

「20年以上」の割合が 30.9%と高く、次いで「15年～20年未満」の割合が 17.4%、「9年～11年未満」の割合が 12.1%となっています。



【ひとり親家庭になってからの期間別】

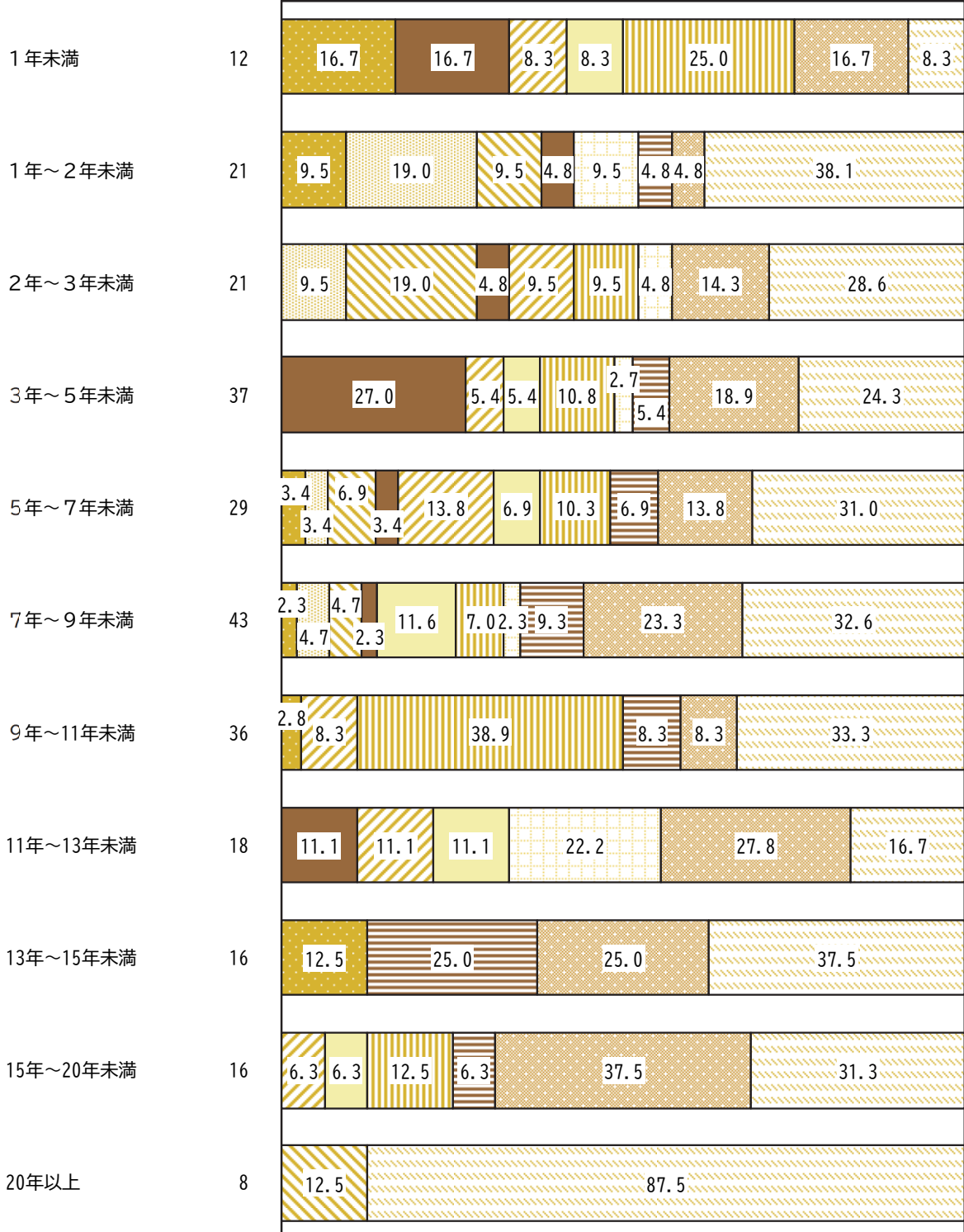
ひとり親家庭になってからの期間別（問 6）との組み合わせでみると、ひとり親家庭になってからの期間と居住年数が同じ人の割合が高くなっています。

【ひとり親家庭となってからの居住年数】

- 1年未満
- 1年～2年未満
- 2年～3年未満
- 3年～5年未満
- 5年～7年未満
- 7年～9年未満
- 9年～11年未満
- 11年～13年未満
- 13年～15年未満
- 15年～20年未満
- 20年以上
- 無回答

回答者数 = 0% 20% 40% 60% 80% 100%

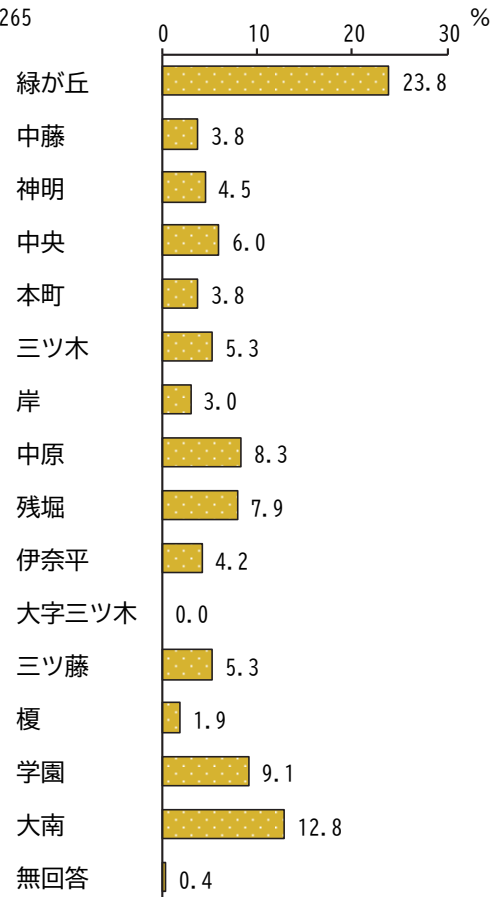
【ひとり親家庭になってからの期間】



問5-1 武蔵村山市のどちらにお住まいですか。(1つに○)

「緑が丘」の割合が23.8%と高く、次いで「大南」の割合が12.8%となっています。

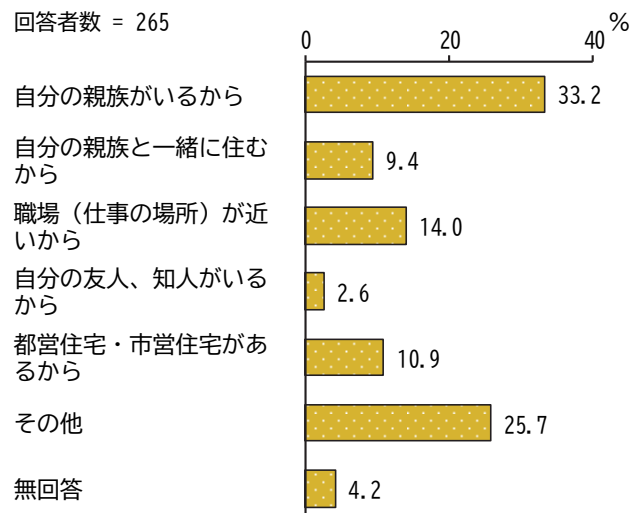
回答者数 = 265



問5-2 武蔵村山市にお住まいになられたのは、どのような理由ですか。(1つに○)

「自分の親族がいるから」の割合が33.2%と高く、次いで「職場（仕事の場所）が近いから」の割合が14.0%、「都営住宅・市営住宅があるから」の割合が10.9%となっています。

回答者数 = 265



【その他の主な意見】

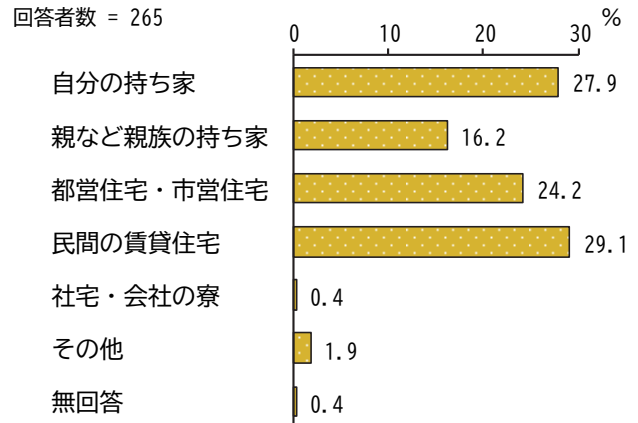
・家を購入したから

・結婚したから

・家賃が安いから など

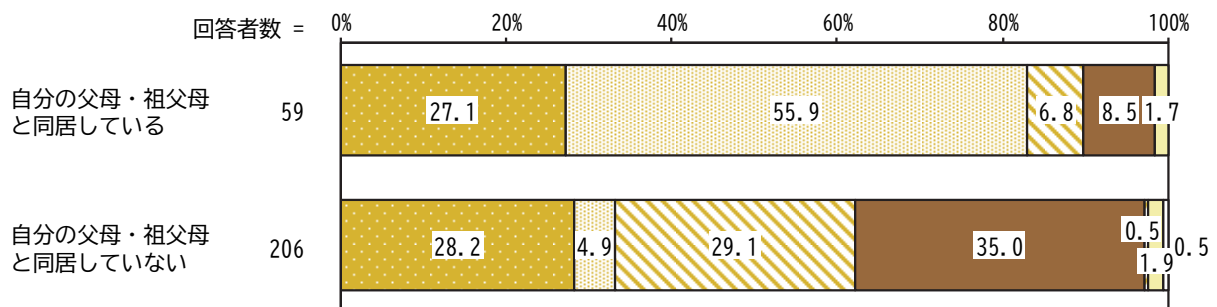
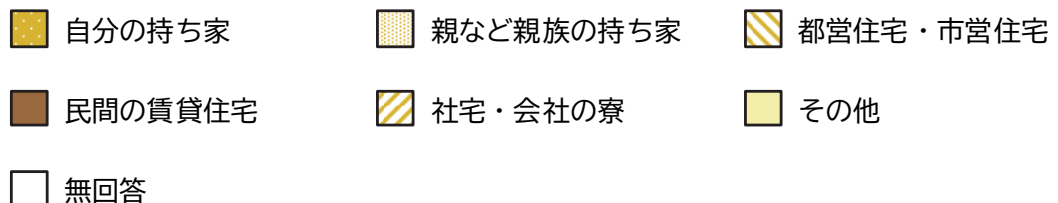
問5-3 お住まいは次のうちのどちらですか。(1つに○)

「民間の賃貸住宅」の割合が29.1%と高く、次いで「自分の持ち家」の割合が27.9%、「都営住宅・市営住宅」の割合が24.2%となっています。



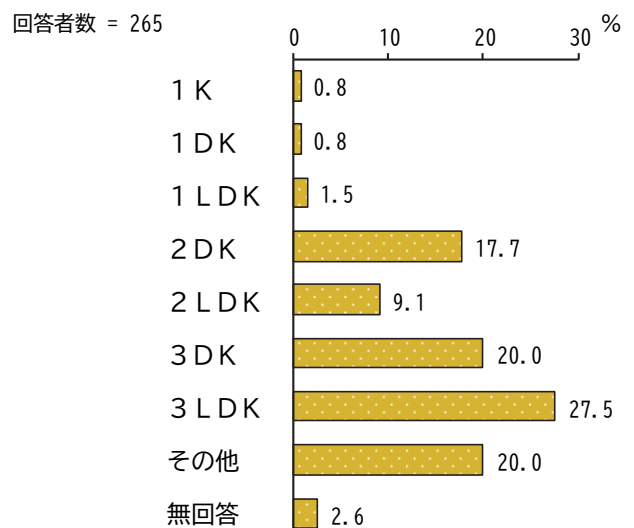
【父母・祖父母との同居別】

父母・祖父母との同居別（問4 関係）との組み合わせでみると、「自分の父母・祖父母と同居している」で「親など親族の持ち家」の割合が高くなっています。また、「自分の父母・祖父母と同居していない」で「都営住宅・市営住宅」「民間の賃貸住宅」の割合が高くなっています。



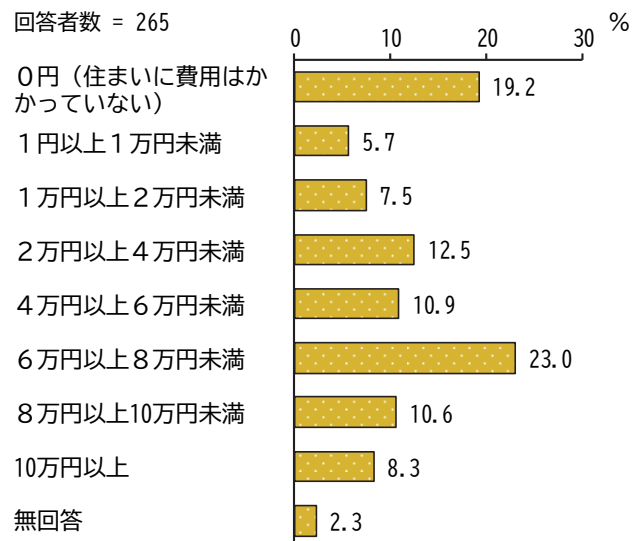
問5-4 お住まいの間取りを教えてください。(1つに○)

「3LDK」の割合が27.5%と高く、次いで「3DK」の割合が20.0%、「2DK」の割合が17.7%となっています。



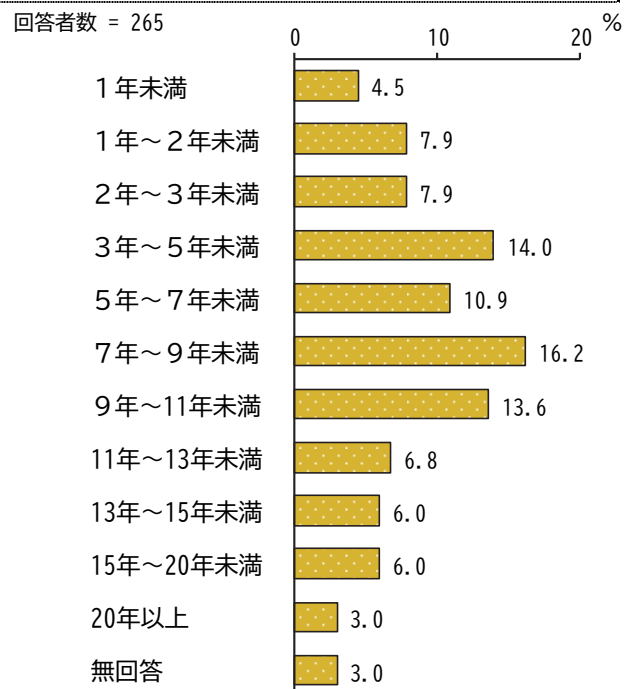
問5-5 家賃・住宅ローンなど、お住まいには1か月にどのくらいの費用がかかりますか。(1つに○)

「6万円以上8万円未満」の割合が23.0%と高く、次いで「0円(住まいに費用はかかっていない)」の割合が19.2%、「2万円以上4万円未満」の割合が12.5%となっています。



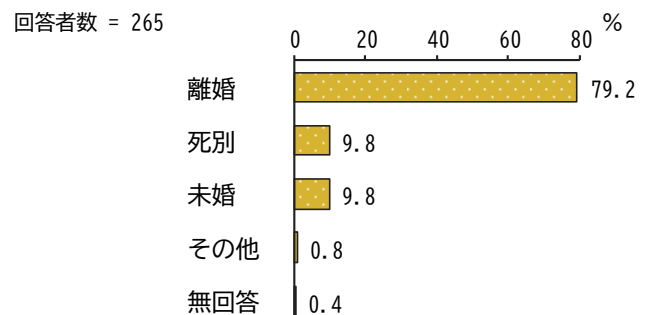
問6 ひとり親家庭になってから何年くらいになりますか。

「7年～9年未満」の割合が16.2%と高く、次いで「3年～5年未満」の割合が14.0%、「9年～11年未満」の割合が13.6%となっています。



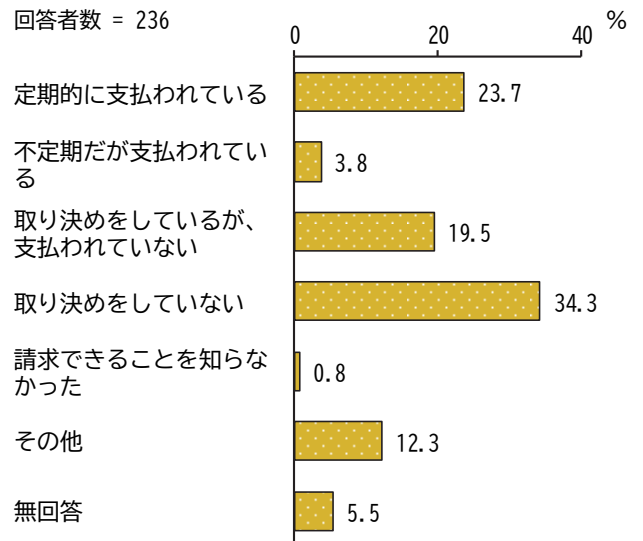
問7 ひとり親家庭になった理由を教えてください。(1つに○)

「離婚」の割合が79.2%と高くなっています。



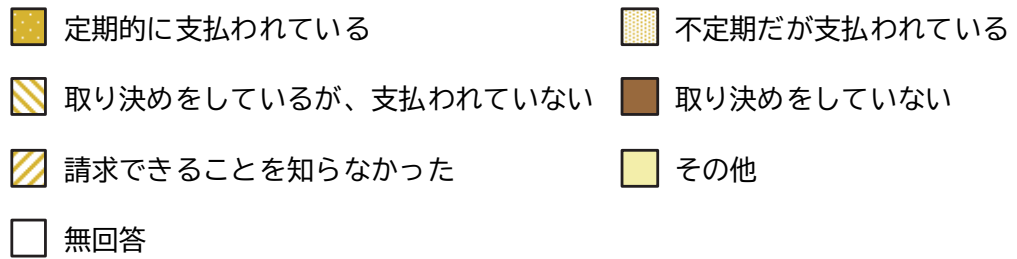
問7-1 問7で「離婚」又は「未婚」を選んだ方にうかがいます。
 養育費は、支払われていますか。(1つに○)

「取り決めをしていない」の割合が34.3%と高く、次いで「定期的に支払われている」の割合が23.7%、「取り決めをしているが、支払われていない」の割合が19.5%となっています。

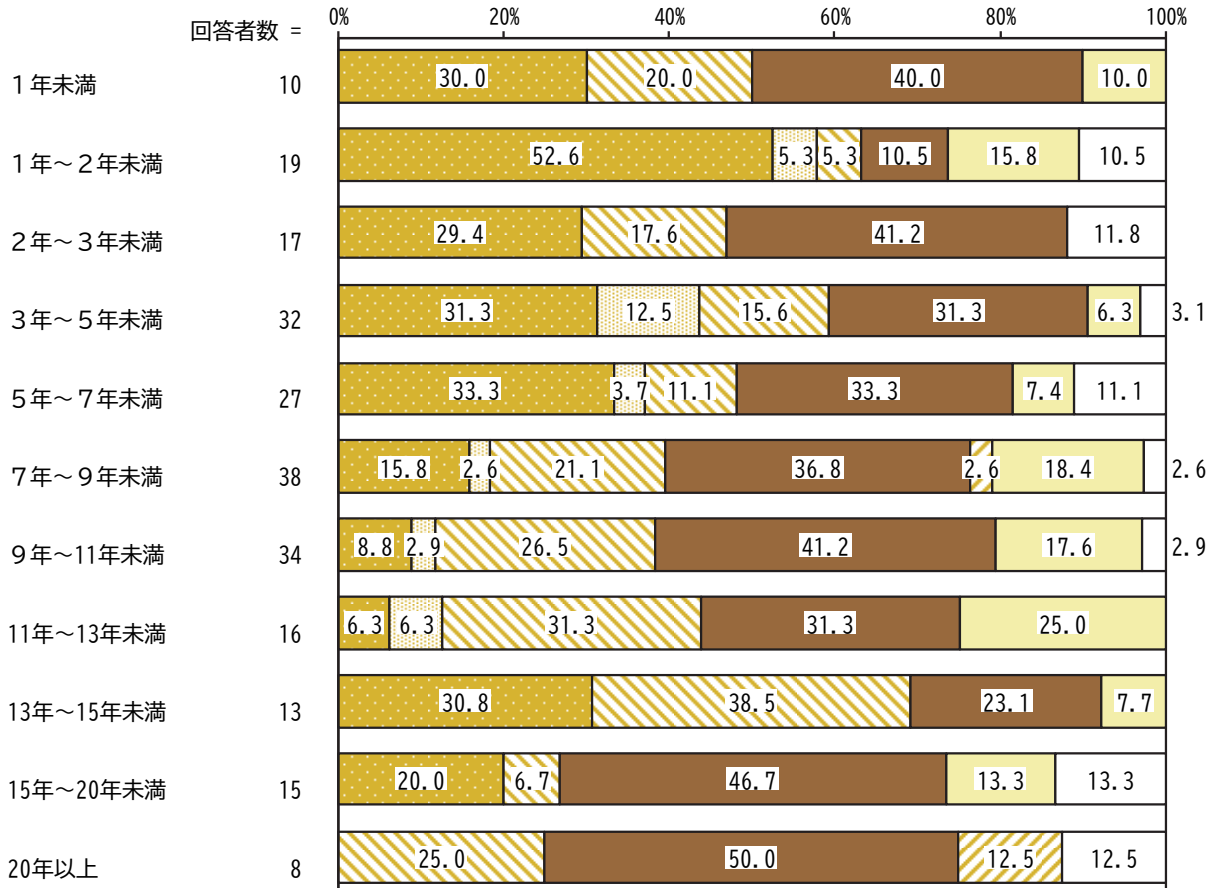


【ひとり親家庭になってからの期間別】

ひとり親になってからの期間別（問6）との組み合わせでみると、ひとり親家庭になってからの期間が長いほど、「取り決めをしているが、支払われていない」の割合が高くなる傾向がみられ、ひとり親家庭の期間が13年～15年未満では約4割となっています。



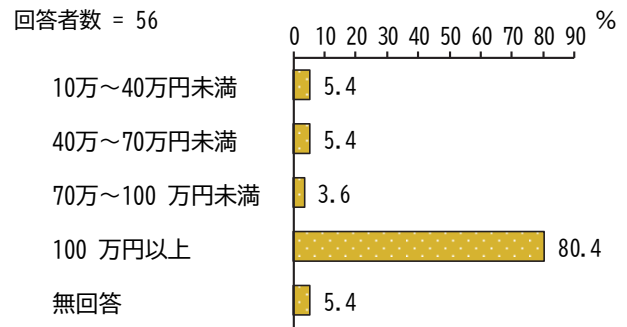
【ひとり親家庭になってからの期間】



<金額（年間）>

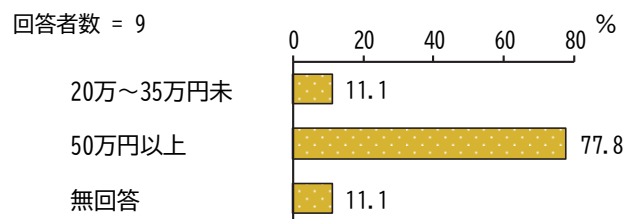
定期的に支払われている

「100万円以上」の割合が80.4%と最も高くなっています。



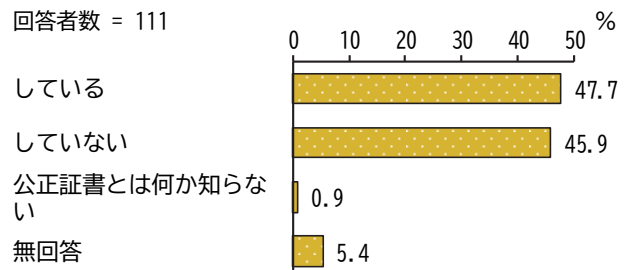
不定期だが支払われている

「50万円以上」の割合が77.8%と最も高く、
続いて「20万～35万円未満」の割合が11.1%
となっています。



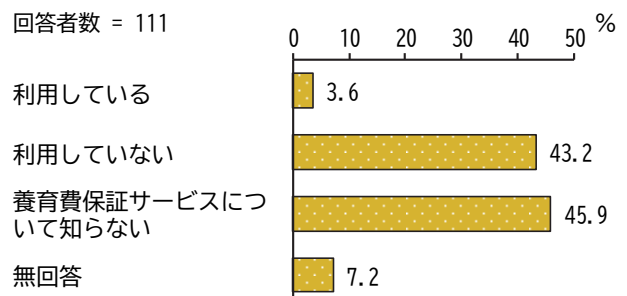
問7-2 問7-1で「定期的に支払われている」「不定期だが支払われている」「取り決めをしているが、支払われていない」を選んだ方にうかがいます。
養育費を取り決める際に、公正証書は作成していますか。(1つに○)

「している」の割合が47.7%と高く、次いで
「していない」の割合が45.9%となっています。



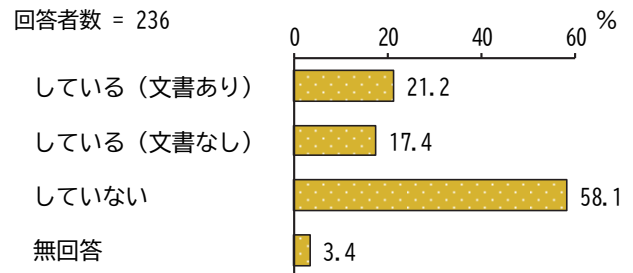
問7-3 問7-1で「定期的に支払われている」「不定期だが支払われている」「取り決めをしているが、支払われていない」を選んだ方にうかがいます。
養育費保証サービスは利用されていますか。(1つに○)

「養育費保証サービスについて知らない」の
割合が45.9%と高く、次いで「利用していない」
の割合が43.2%となっています。



問7-4 問7で「離婚」又は「未婚」を選んだ方にうかがいます。
面会交流の取り決めをしていますか。(1つに○)

「していない」の割合が58.1%と高く、次いで「している(文書あり)」の割合が21.2%、「している(文書なし)」の割合が17.4%となっています。

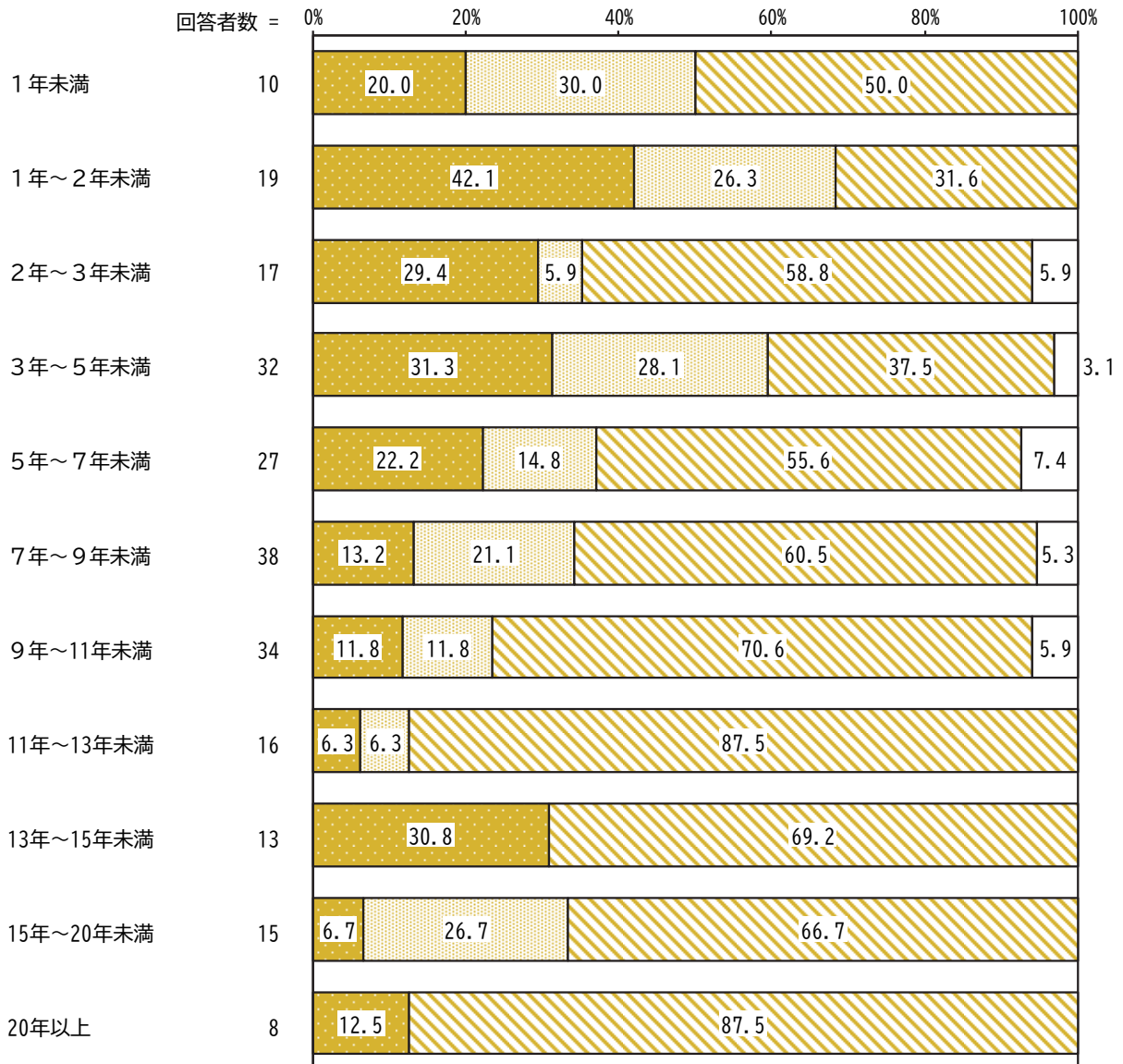


【ひとり親家庭になってからの期間別】

ひとり親家庭になってからの期間別(問6)との組み合わせでみると、ひとり親家庭の期間が1年～2年未満では「している(文書あり)」の割合が高く、42.1%となっています。一方、11年～13年未満では「していない」が87.5%となっています。

■ している(文書あり) ■ している(文書なし) ■ していない □ 無回答

【ひとり親家庭になってからの期間】



2 仕事（就労）について

問8 すべての方にうかがいます。ひとり親家庭になったときの仕事の状況を教えてください。（1つに○）

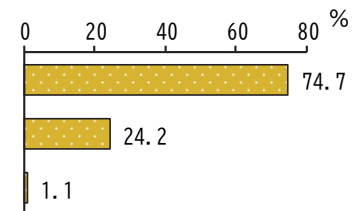
「働いていた」の割合が74.7%、「働いていなかった」の割合が24.2%となっています。

回答者数 = 265

働いていた

働いていなかった

無回答



問9 ひろり親家庭になったことで、仕事の状況は変わりましたか。（1つに○）

「変わっていない」の割合が50.6%と高く、次いで「転職した」の割合が23.0%、「働き始めた」の割合が20.4%となっています。

回答者数 = 265

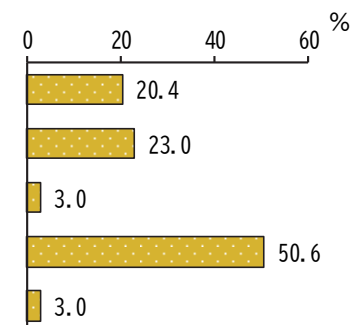
働き始めた

転職した

退職した

変わっていない

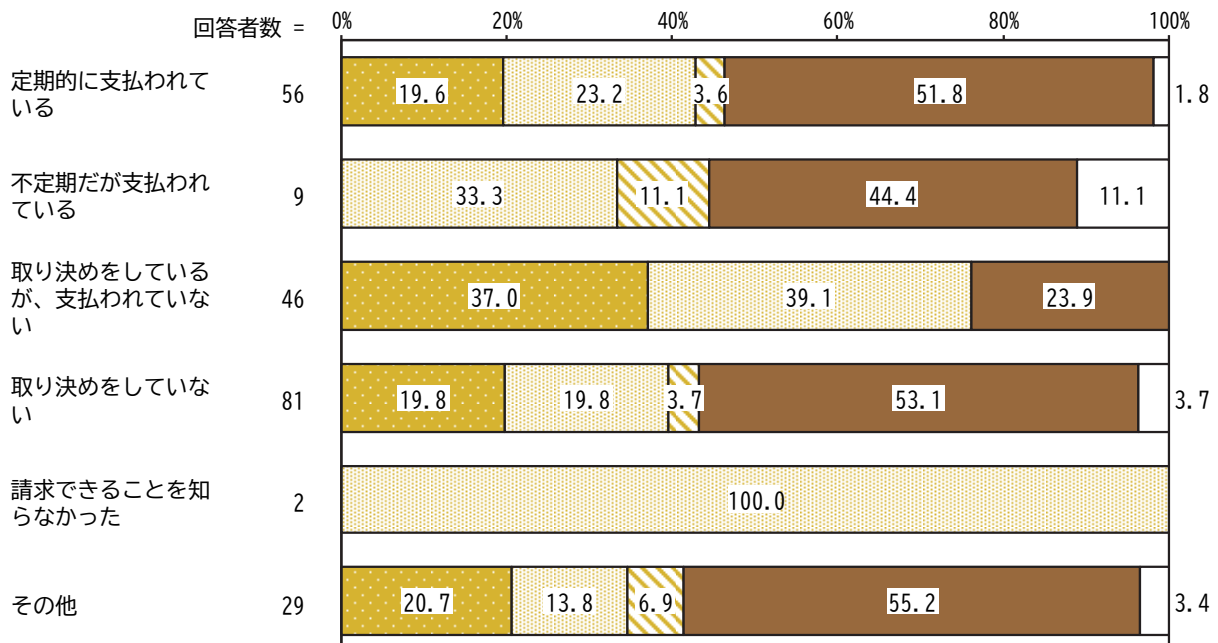
無回答



【養育費の支払状況別】

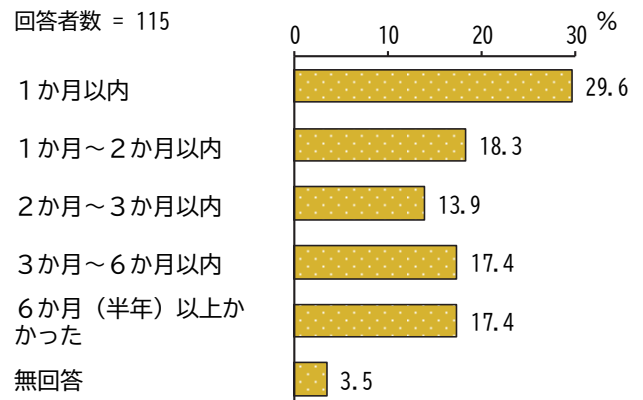
養育費の支払状況別（問7-1）との組み合わせでみると、養育費の取り決めをしているが、支払われていない人で「働き始めた」の割合が37.0%、「転職した」の割合が39.1%となっています。

■ 働き始めた ■ 転職した ■ 退職した ■ 変わっていない □ 無回答



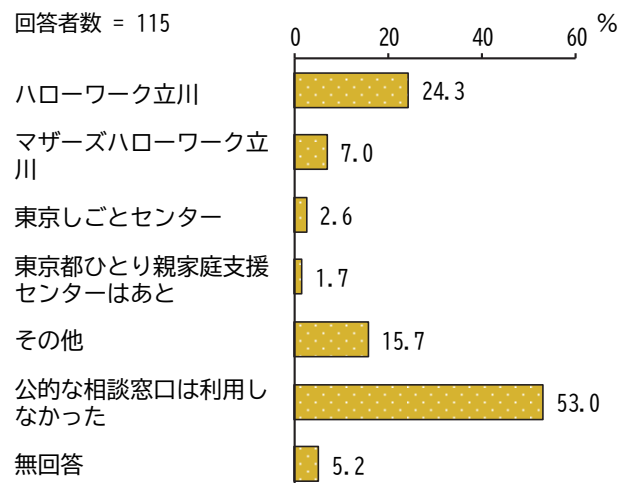
問9-1 問9で「働き始めた」「転職した」と答えた方にうかがいます。
 就職・転職活動を始めてから仕事が決まるまでどのくらいかかりましたか。
 (1つに○)

「1か月以内」の割合が29.6%と高く、次いで「1か月～2か月以内」の割合が18.3%、「3か月～6か月以内」、「6か月(半年)以上かかった」の割合が17.4%となっています。



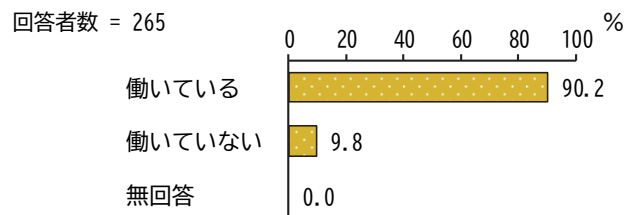
問9-2 就職・転職で利用した公的な相談窓口はどちらですか。
 (あてはまるものすべてに○)

「公的な相談窓口は利用しなかった」の割合が53.0%と高く、次いで「ハローワーク立川」の割合が24.3%となっています。



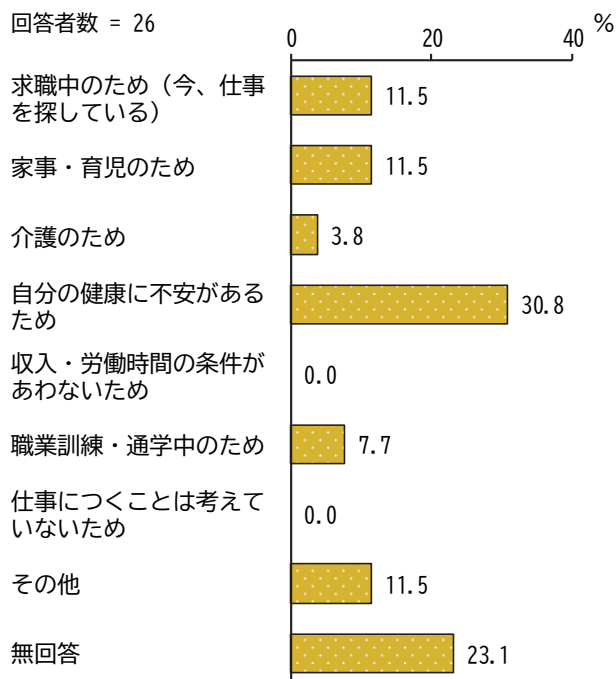
問10 すべての方にかがいます。
現在の仕事の状況を教えてください。(1つに○)

「働いている」の割合が90.2%、「働いていない」の割合が9.8%となっています。



問11 問10で「働いていない」と答えた方にかがいます。
働いていない理由は何ですか。(1つに○)

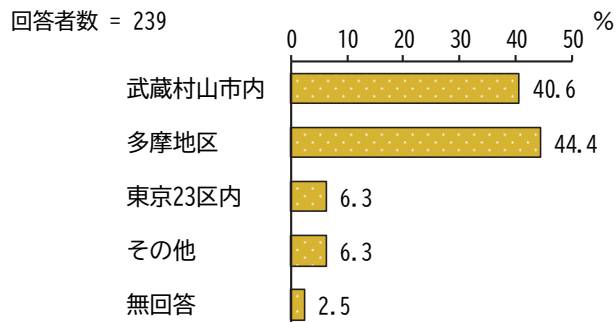
「自分の健康に不安があるため」の割合が30.8%と高く、次いで「求職中のため(今、仕事を探している)」、「家事・育児のため」の割合が11.5%となっています。



ここからは、問10で「働いている」と答えた方にかがいます。

問12 働いている場所はどちらですか。(1つに○)

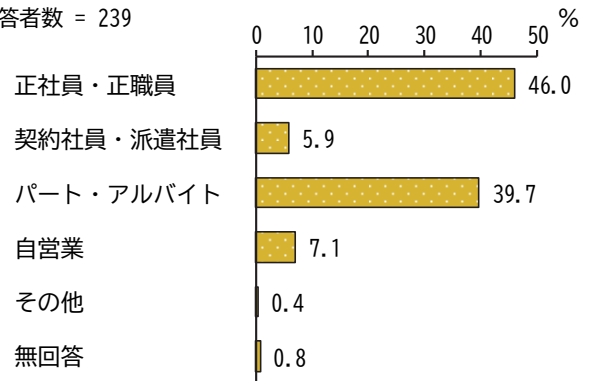
「多摩地区」の割合が44.4%と高く、次いで「武蔵村山市内」の割合が40.6%となっています。



問 12-1 どのような形で働いていますか。(1つに○)

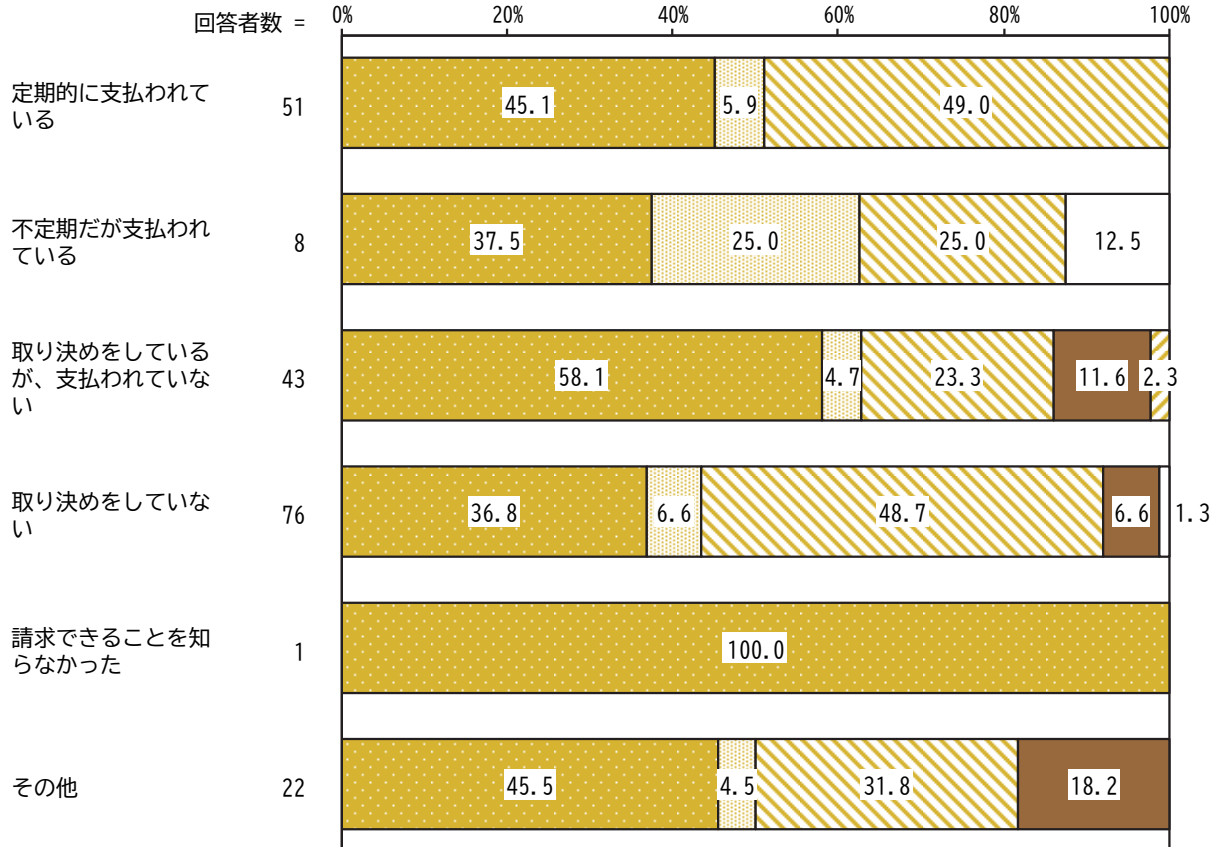
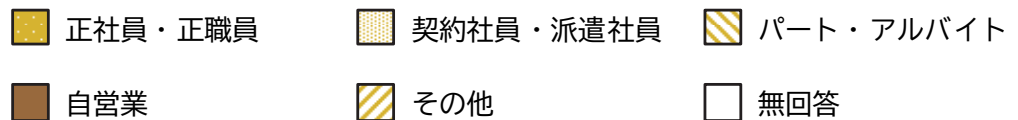
「正社員・正職員」の割合が 46.0%と高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 39.7%となっています。

回答者数 = 239



【養育費の支払状況別】

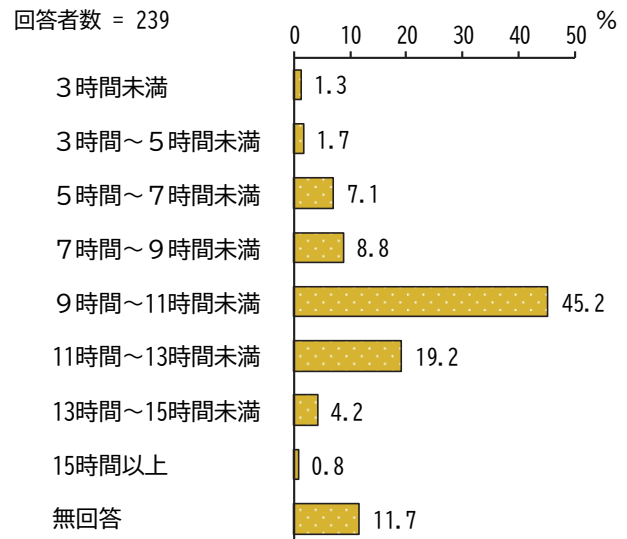
養育費の支払状況別（問 7-1）との組み合わせでみると、養育費の取り決めをしているが、支払われていない人では、「正社員・正職員」の割合が 58.1%と高く、一方、「パート・アルバイト」の割合が高いのは、定期的に支払われている人（49.0%）、養育費の取り決めをしていない人（48.7%）となっています。



問 12-2 今の仕事の出勤時間と帰宅時間を教えてください。また、仕事のある日に、子どもと一緒にいられる時間はどのくらいですか。

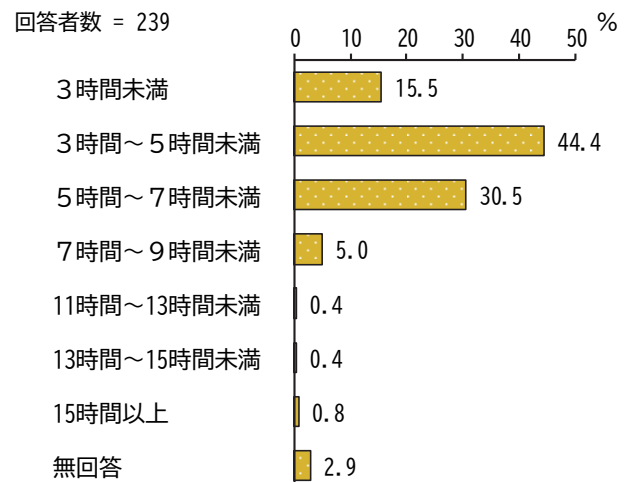
家にいない時間

家を出る時刻と家に帰ってくる時刻から、『家にいない時間』を算出したところ、「9時間～11時間未満」の割合が45.2%と高く、次いで「11時間～13時間未満」の割合が19.2%となっています。



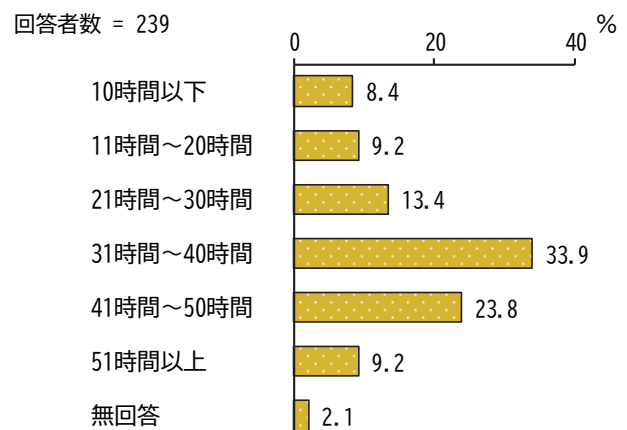
子どもと一緒に過ごす時間

「3時間～5時間未満」の割合が44.4%と高く、次いで「5時間～7時間未満」の割合が30.5%、「3時間未満」の割合が15.5%となっています。



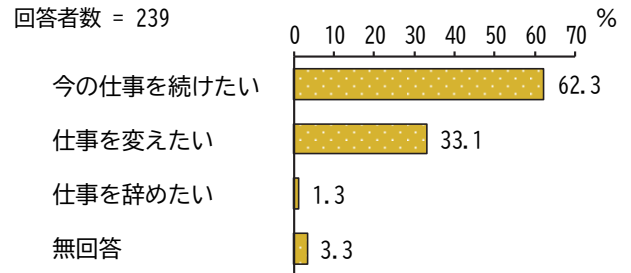
問 12-3 今の仕事の一週間あたりの平均就業時間を教えてください。(1つに○)

「31時間～40時間」の割合が33.9%と高く、次いで「41時間～50時間」の割合が23.8%、「21時間～30時間」の割合が13.4%となっています。



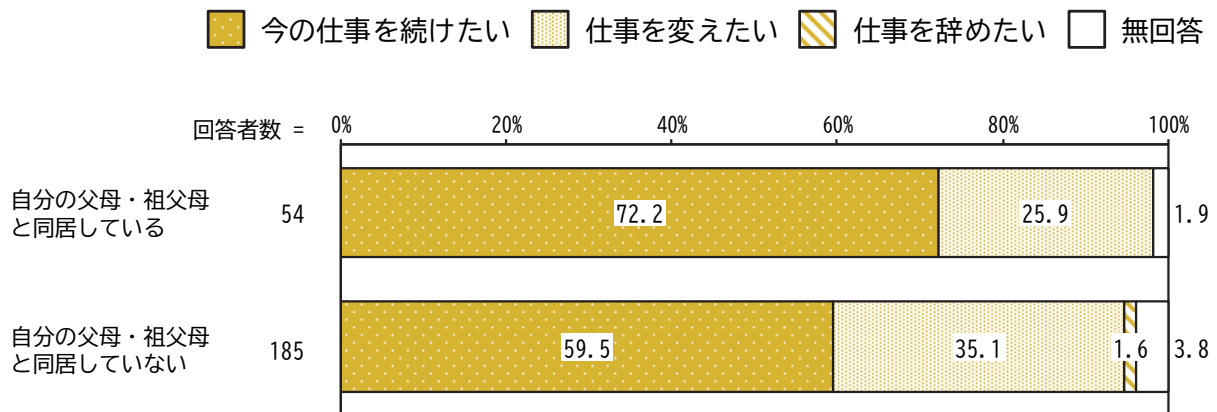
問 12-4 今の仕事から転職する希望がありますか。(1つに○)

「今の仕事を続けたい」の割合が 62.3%と高く、次いで「仕事を变えたい」の割合が 33.1%となっています。



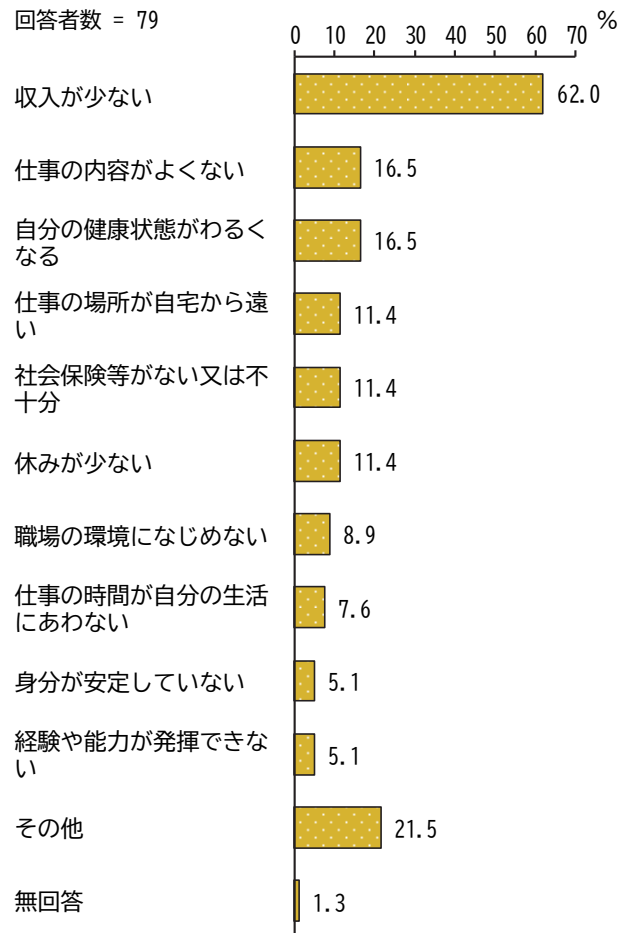
【自分の父母・祖父母との同居別】

自分の父母・祖父母との同居別（問 4 関係）との組み合わせでみると、自分の父母・祖父母と同居している人で「今の仕事を続けたい」の割合が高く、72.2%となっています。



問 12-5 問 12-4で「仕事を変えたい」と答えた方にかがいます。
 仕事を変えたい理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「収入が少ない」の割合が62.0%と高く、次いで「仕事の内容がよくない」、「自分の健康状態がわるくなる」の割合が16.5%となっています。



【その他の主な意見】

・職場の閉店が決まっている

・急な休みが取りづらい など

【養育費の支払状況別】

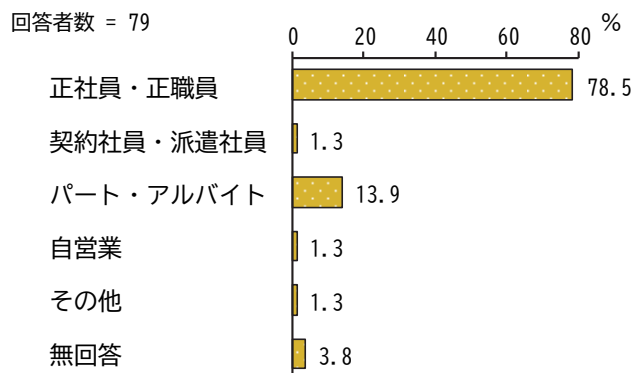
養育費の支払状況別（問 7-1）との組み合わせでみると、「養育費の取り決めをしているが、支払われていない」で「収入が少ない」の割合が高く、77.8%となっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	収入が少ない	遠い 仕事の場所が自宅から	仕事の内容がよくない	職場の環境になじめない	仕事の時間が自分の生活にあわない	社会保険等がない又は不十分	休みが少ない	身分が安定していない	経験や能力が発揮できない	自分の健康状態がわるくなる	その他	無回答
全 体	71	64.8	9.9	15.5	8.5	8.5	12.7	11.3	4.2	4.2	16.9	21.1	1.4
定期的に支払われている	19	52.6	10.5	26.3	10.5	—	15.8	10.5	5.3	5.3	15.8	21.1	5.3
不定期だが支払われている	3	66.7	33.3	—	—	—	—	—	—	—	33.3	—	—
取り決めをしているが、支払われていない	18	77.8	5.6	16.7	—	16.7	16.7	5.6	11.1	—	11.1	27.8	—
取り決めをしていない	21	47.6	14.3	9.5	14.3	9.5	14.3	9.5	—	9.5	14.3	23.8	—
請求できることを知らなかった	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
その他	8	100.0	—	—	12.5	12.5	—	37.5	—	—	25.0	12.5	—

問 12-6 問 12-4 で「仕事を変えたい」と答えた方にかがいます。
希望する仕事の形は何ですか。（1つに○）

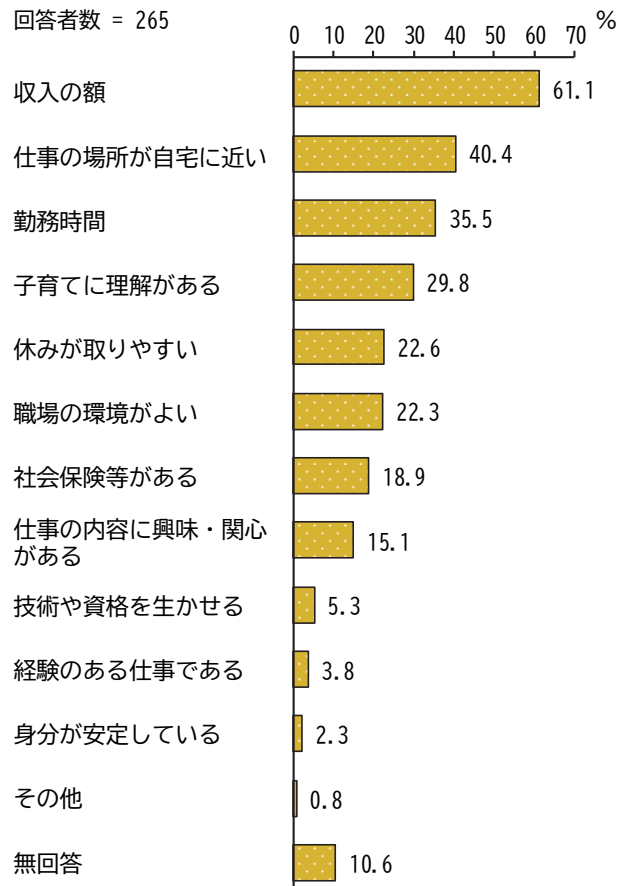
「正社員・正職員」の割合が 78.5%と最も高く、次いで「パート・アルバイト」の割合が 13.9%となっています。



すべての方にうかがいます。

問13 仕事を選ぶときはどんな条件が大事だと思っていますか。(3つまで○)

「収入の額」の割合が61.1%と高く、次いで「仕事の場所が自宅に近い」の割合が40.4%、「勤務時間」の割合が35.5%となっています。



【子どもの学年別等】

子どもの学年別等（問3）との組み合わせでみると、子どもの学年が低くなるにつれ「子育てに理解がある」の割合が高くなる傾向がみられ、小学1～3年で53.1%となっています。

単位：%

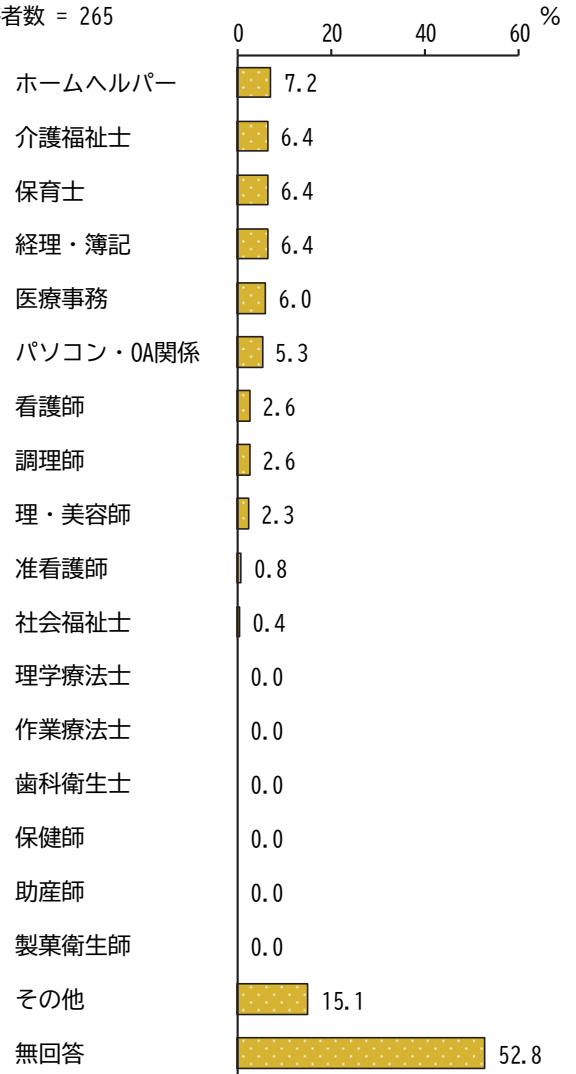
区分	回答者数(件)	収入の額	仕事の場所が自宅に近い	仕事の内容に興味・関心がある	職場の環境がよい	勤務時間	社会保険等がある	休みが取りやすい	身分が安定している	技術や資格を生かせる	子育てに理解がある	経験のある仕事である	その他	無回答
全体	265	61.1	40.4	15.1	22.3	35.5	18.9	22.6	2.3	5.3	29.8	3.8	0.8	10.6
小学校入学前	56	57.1	39.3	8.9	21.4	41.1	8.9	28.6	—	5.4	50.0	1.8	—	10.7
小学1～3年	49	53.1	36.7	10.2	24.5	38.8	8.2	30.6	2.0	4.1	53.1	—	—	10.2
小学4～6年	66	59.1	40.9	16.7	19.7	39.4	19.7	16.7	1.5	6.1	22.7	—	—	13.6
中学生	85	62.4	47.1	18.8	17.6	37.6	21.2	18.8	1.2	4.7	24.7	3.5	—	10.6
高校生	100	63.0	42.0	24.0	27.0	29.0	24.0	19.0	3.0	8.0	13.0	6.0	2.0	9.0
大学・短大等	21	66.7	33.3	42.9	28.6	42.9	9.5	9.5	4.8	14.3	9.5	4.8	4.8	4.8
進学せずに働いている	8	87.5	25.0	25.0	25.0	25.0	12.5	25.0	12.5	—	12.5	12.5	—	12.5
その他	4	50.0	75.0	—	—	—	25.0	25.0	—	—	50.0	—	—	25.0

問 14 (1) あなたが持っている資格はありますか。
 (2) 今後、とりたい資格はありますか。(あてはまるものすべてに○)
 (1) もっている資格の番号に○、資格が役立った場合は□にチェックをいれてください。

(1) もっている資格

「ホームヘルパー」の割合が 7.2%と高くなっています。

回答者数 = 265



(1) 役に立った資格

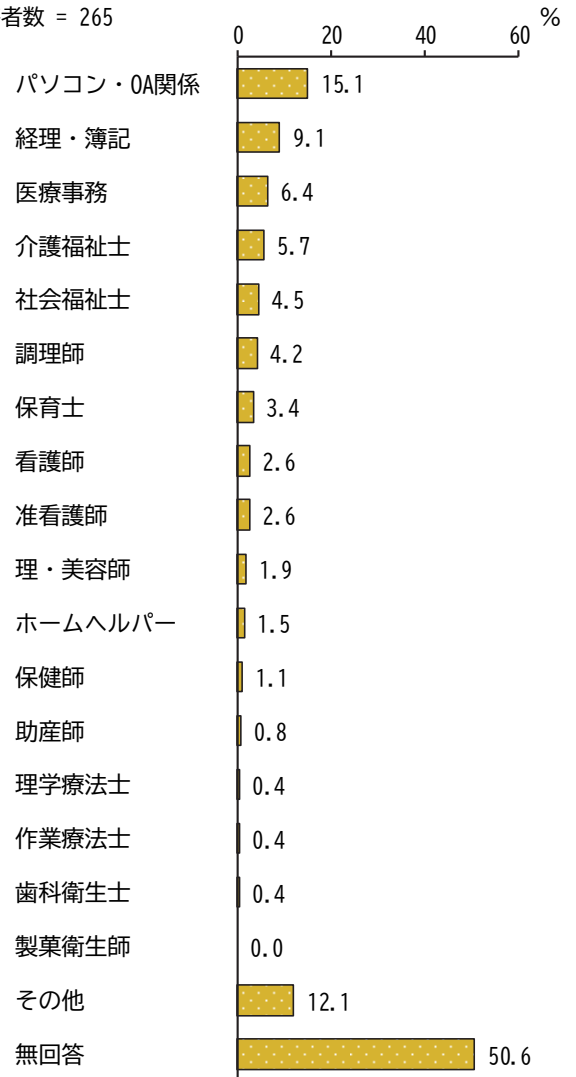
「介護福祉士」の割合が 6.0%と高くなっています。

回答者数 = 265



(2) 今後、とりたい資格に○をしてください。
「パソコン・OA関係」の割合が15.1%と高くなっています。

回答者数 = 265

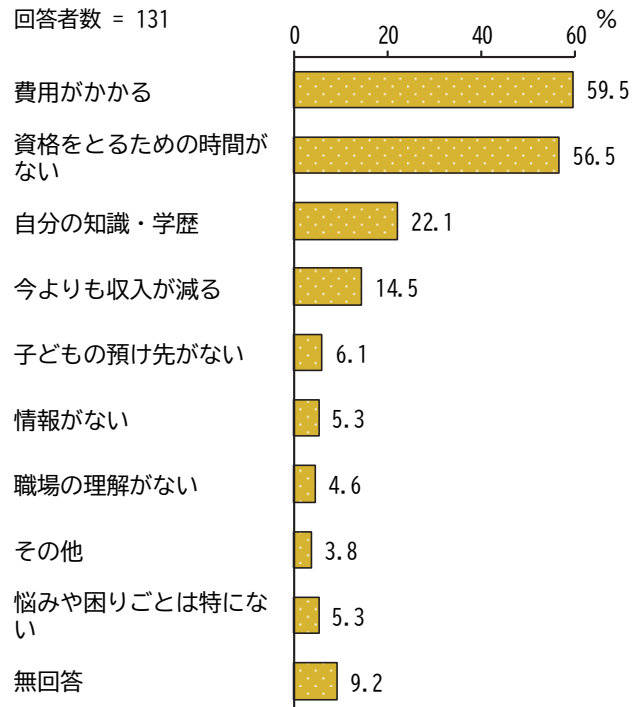


【その他の主な意見】

- ・ 宅建士
- ・ 電気工事士
- ・ 心理カウンセラー など

問 14-1 問 14 (2) 今後、とりたい資格で、いずれかに○をつけた方にうかがいます。
資格をとるにあたって、悩みや困っていることはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

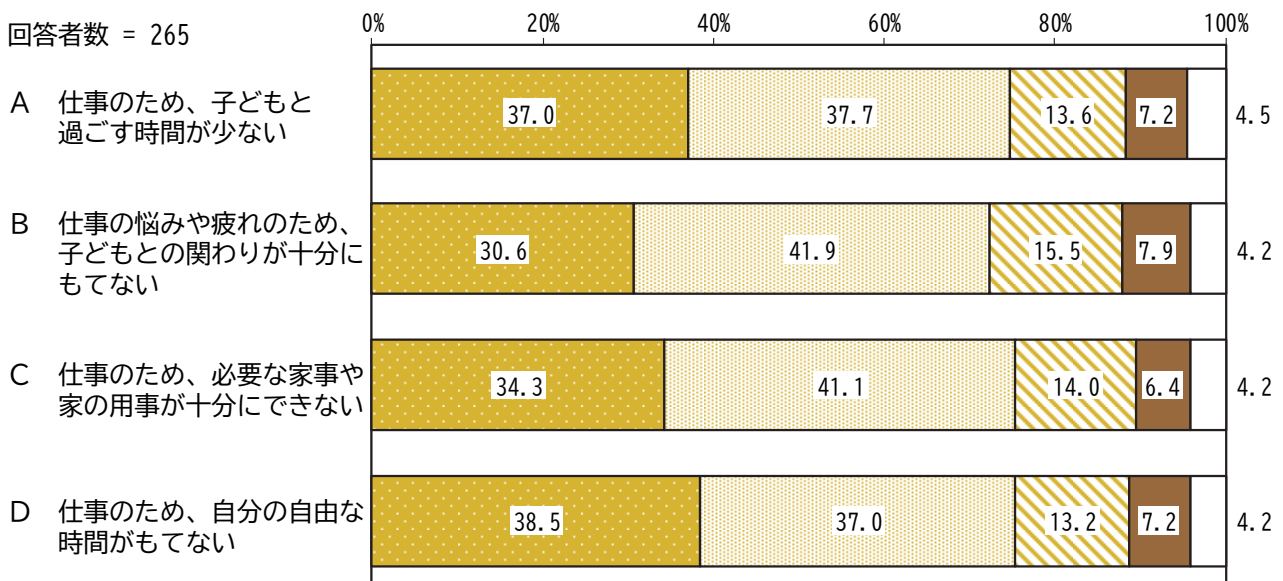
「費用がかかる」の割合が 59.5%と高く、次いで「資格をとるための時間がない」の割合が 56.5%、「自分の知識・学歴」の割合が 22.1%となっています。



問 15 すべての方にうかがいます。
仕事では収入をえられますが、生活の時間を使うことになります。仕事と生活とのバランスについて、あなたには次のA～Dのようなことがありますか。A～Dそれぞれについてあてはまる番号（1～4）1つに○をつけてください。

『D 仕事のため、自分の自由な時間がもてない』で「よくある」の割合が高くなっています。

■ よくある ■ ときどきある ■ ほとんどない ■ まったくない □ 無回答

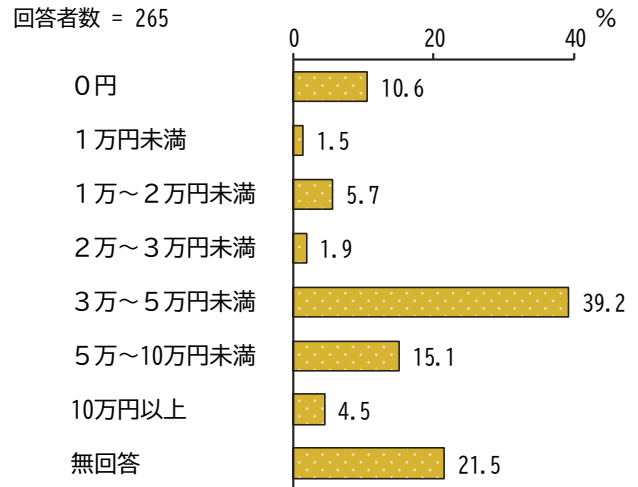


3 収入について

問 16 あなたの世帯で、以下のAからFまでの社会保障給付金及び公的年金の1回あたりの支給額はいくらですか。

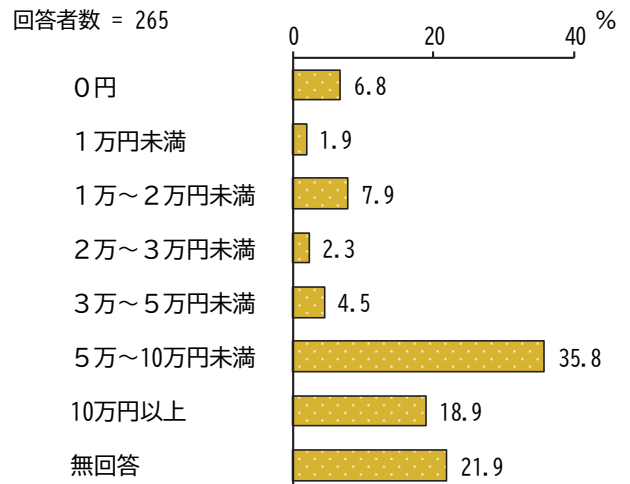
A 児童手当

「3万～5万円未満」の割合が39.2%と高く、次いで「5万～10万円未満」の割合が15.1%、「0円」の割合が10.6%となっています。



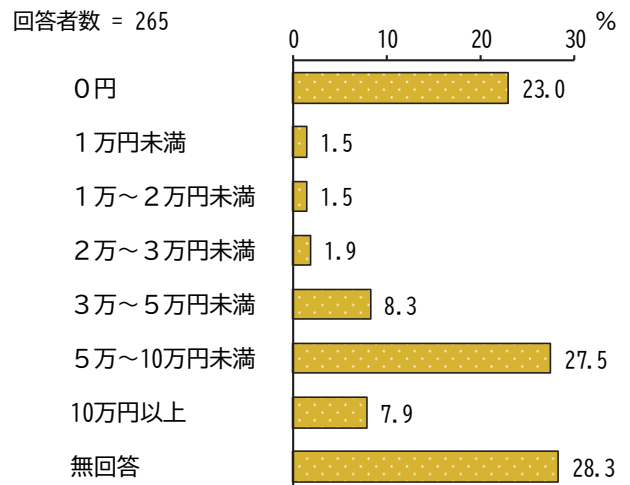
B 児童育成手当

「5万～10万円未満」の割合が35.8%と高く、次いで「10万円以上」の割合が18.9%となっています。



C 児童扶養手当

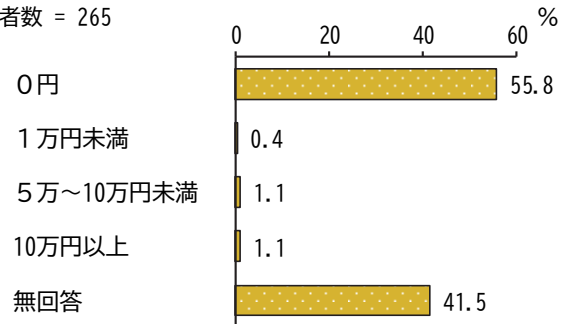
「5万～10万円未満」の割合が27.5%と高く、次いで「0円」の割合が23.0%となっています。



D 特別児童扶養手当

「0円」の割合が55.8%と高くなっています。

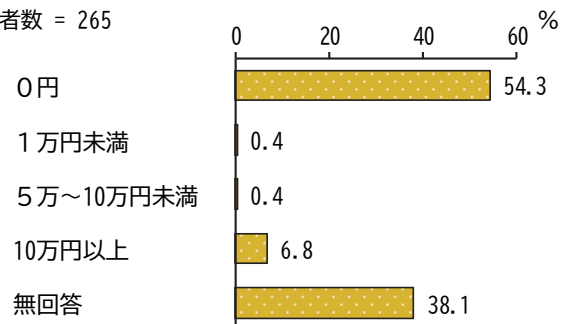
回答者数 = 265



E 年金（遺族年金、老齢年金など）

「0円」の割合が54.3%と高くなっています。

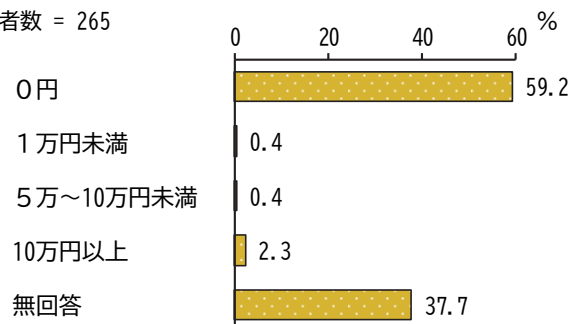
回答者数 = 265



F 生活保護

「0円」の割合が59.2%と高くなっています。

回答者数 = 265

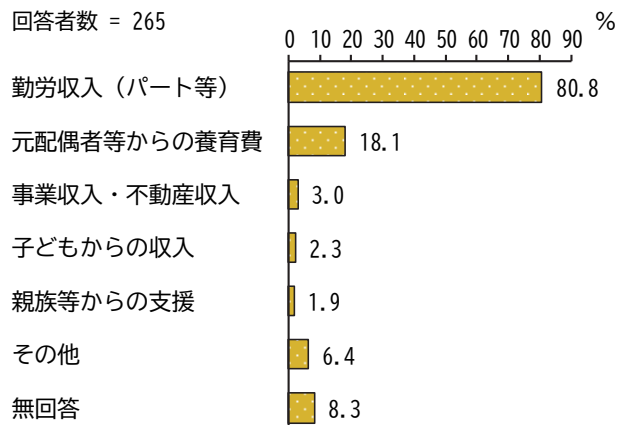


問 17 あなたの世帯の収入についてうかがいます。

問 16 で回答いただいた、社会保障給付金及び公的年金以外の収入について、
(1) お子さんと生計を共にしている世帯全員の方の収入源、(2) 年間収入
(税込) を教えてください。

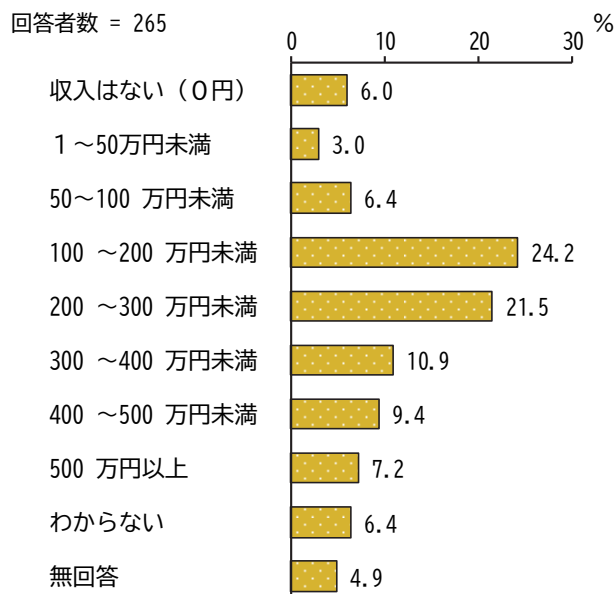
(1) 世帯全員の収入源 (あてはまるものすべてに○)

「勤労収入 (パート等)」の割合が 80.8%と最も高く、次いで「元配偶者等からの養育費」の割合が 18.1%となっています。



(2) 世帯全員の年間収入 (税込) (1つに○)

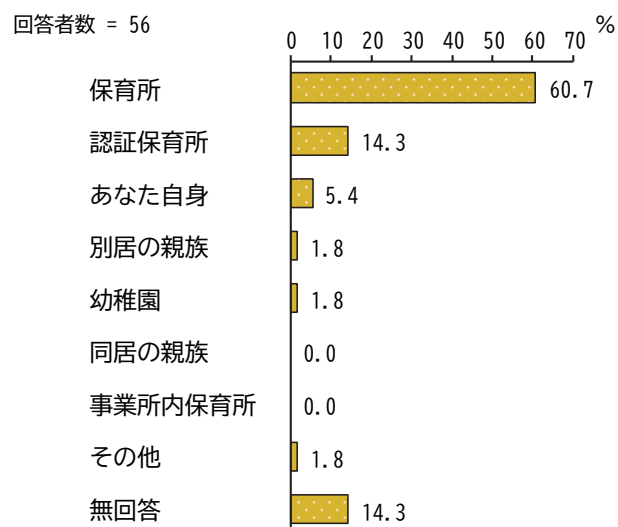
「100 ~200 万円未満」の割合が 24.2%と高く、次いで「200 ~300 万円未満」の割合が 21.5%、「300 ~400 万円未満」の割合が 10.9%となっています。



4 お子さんについて

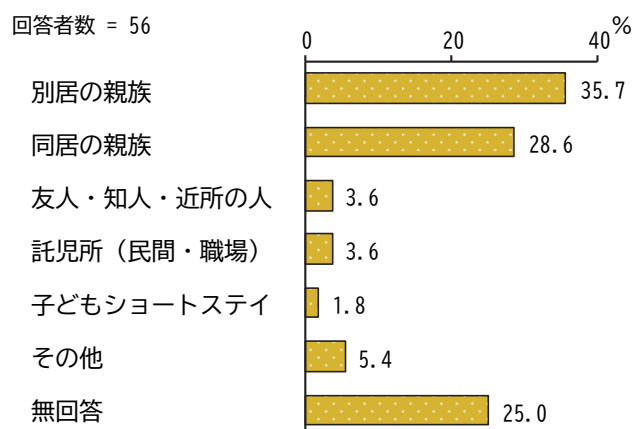
問 18 小学校入学前のお子さんがある方にうかがいます。
日中の保育は主にどなたが行っていますか。(1つに○)

「保育所」の割合が 60.7%と最も高く、次いで「認証保育所」の割合が 14.3%となっています。



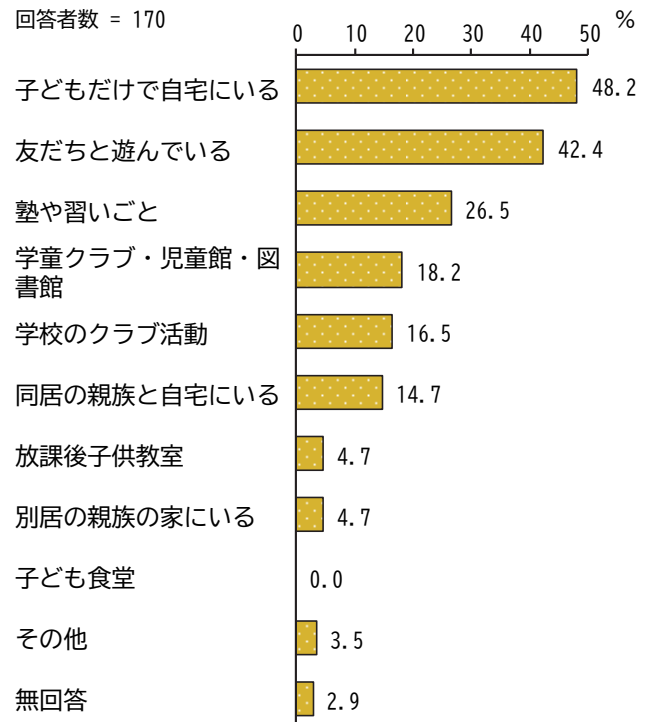
問 18-1 仕事などで、夜間（保育所等の終了後）に子どもの世話をできない場合の預け先はどちらですか。(あてはまるものすべてに○)

「別居の親族」の割合が 35.7%と高く、次いで「同居の親族」の割合が 28.6%となっています。



問 19 小・中学生のお子さんがある方にかがいます。平日（学校のある日）の放課後
を、おさんはどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもだけで自宅にいる」の割合が 48.2%と高く、次いで「友だちと遊んでいる」の割合が 42.4%、「塾や習いごと」の割合が 26.5%となっています。



【父母・祖父母との同居別】

父母・祖父母との同居別（問 4 関係）との組み合わせでみると、平日（学校のある日）の放課後の、お子さんの過ごし方については、父母・祖父母と同居している場合は、「同居の親族と自宅にいる」の割合が 44.4%と高く、次に「友達と遊んでいる」が 41.7%となっており、父母・祖父母と同居していない場合は、「子どもだけで自宅にいる」割合が 58.2%と高く、「友達と遊んでいる」が 42.5%となっています。

単位：%

区分	回答者数（件）	学童クラブ・児童館・図書館	放課後子供教室	友だちと遊んでいる	学校のクラブ活動	塾や習いごと	同居の親族と自宅にいる	子どもだけで自宅にいる	別居の親族の家にいる	子ども食堂	その他	無回答
全 体	170	18.2	4.7	42.4	16.5	26.5	14.7	48.2	4.7	—	3.5	2.9
自分の父母・祖父母と同居している	36	13.9	2.8	41.7	13.9	33.3	44.4	11.1	2.8	—	—	2.8
自分の父母・祖父母と同居していない	134	19.4	5.2	42.5	17.2	24.6	6.7	58.2	5.2	—	4.5	3.0

【子どもの学年別等】

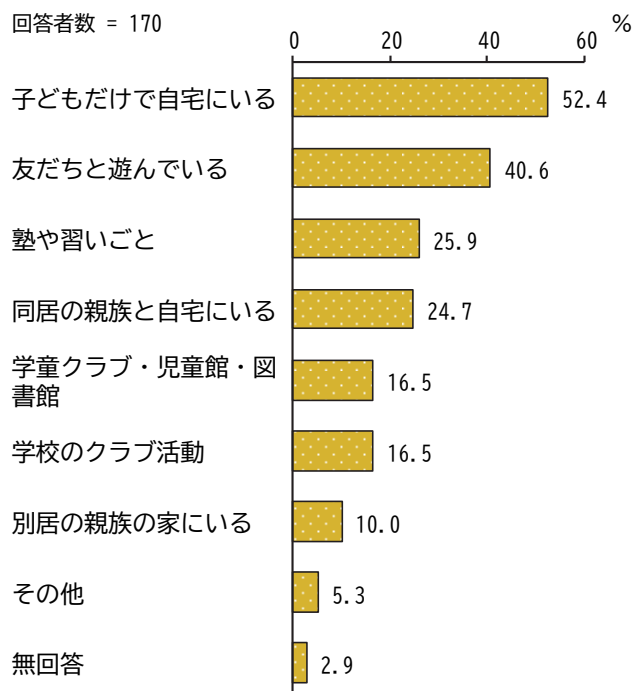
子どもの学年別等（問 3）との組み合わせでみると、子どもの学年が高くなるにつれ「子どもだけで自宅にいる」の割合が高くなる傾向がみられ、子どもが「中学生」になると 58.8%となり、「高校生」になると 60.5%となっています

単位：%

区分	回答者数(件)	図書館 学童クラブ・児童館・ 図書館	放課後子供教室	友だちと遊んでいる	学校のクラブ活動	塾や習いごと	同居の親族と自宅にいる	子どもだけで自宅にいる	別居の親族の家にいる	子ども食堂	その他	無回答
全 体	170	18.2	4.7	42.4	16.5	26.5	14.7	48.2	4.7	—	3.5	2.9
小学校入学前	17	23.5	5.9	11.8	5.9	11.8	17.6	29.4	—	—	—	23.5
小学1～3年	49	53.1	16.3	32.7	—	14.3	10.2	34.7	4.1	—	8.2	2.0
小学4～6年	66	12.1	3.0	60.6	9.1	31.8	19.7	47.0	9.1	—	3.0	3.0
中学生	85	1.2	3.5	38.8	31.8	29.4	12.9	58.8	1.2	—	1.2	2.4
高校生	43	4.7	2.3	46.5	27.9	30.2	11.6	60.5	2.3	—	—	—
大学・短大等	15	—	—	53.3	13.3	6.7	20.0	46.7	—	—	6.7	13.3
進学せずに働いている	1	—	—	100.0	—	100.0	100.0	—	—	—	—	—
その他	1	—	—	—	—	—	—	—	—	—	100.0	—

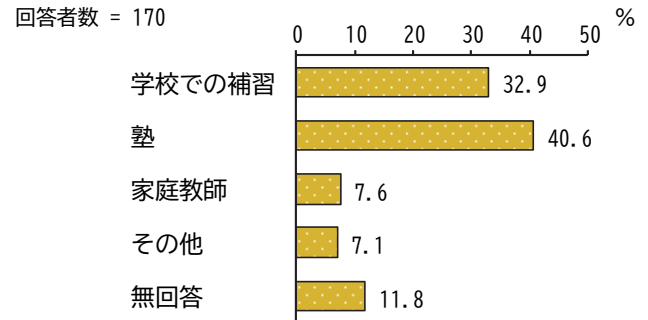
問 19-1 土・日曜日（学校が休みの日）や長期休暇中（夏休み・冬休みなど）の日中を、お子さんはどのように過ごしていますか。（あてはまるものすべてに○）

「子どもだけで自宅にいる」の割合が 52.4%と高く、次いで「友だちと遊んでいる」の割合が 40.6%、「塾や習いごと」の割合が 25.9%となっています。



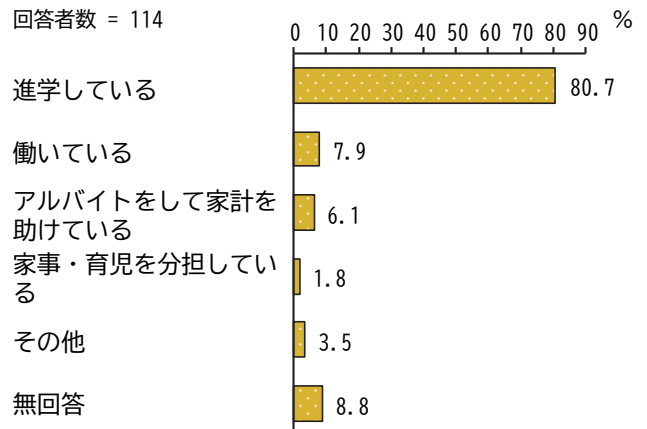
問 19-2 お子さんの学習についてどのような支援が必要だと思いますか。(1つに○)

「塾」の割合が40.6%と高く、次いで「学校での補習」の割合が32.9%となっています。



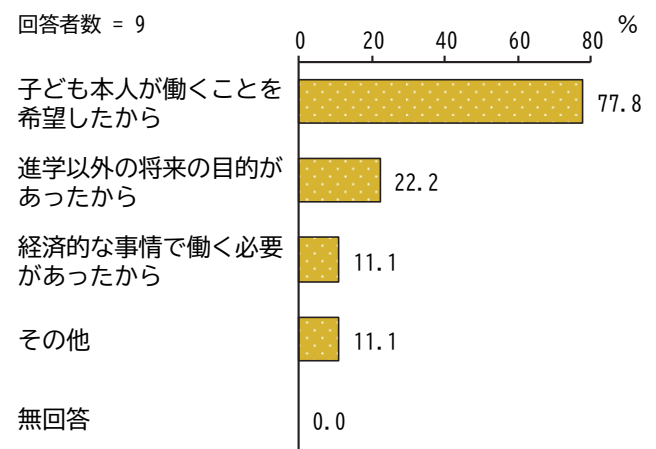
問 20 中学校卒業後のお子さんがある方にうかがいます。お子さんの状況を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「進学している」の割合が80.7%と最も高くなっています。



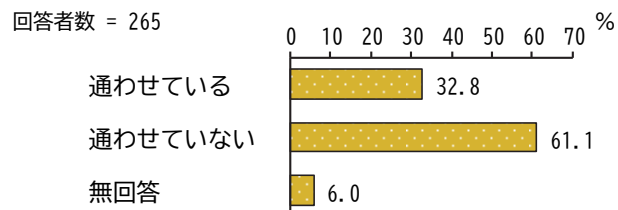
問 20-1 問 20 で「働いている」と答えた方にうかがいます。お子さんが進学せずに働いている理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「子ども本人が働くことを希望したから」の割合が77.8%と最も高く、次いで「進学以外の将来の目的があったから」の割合が22.2%、「経済的な事情で働く必要があったから」の割合が11.1%となっています。



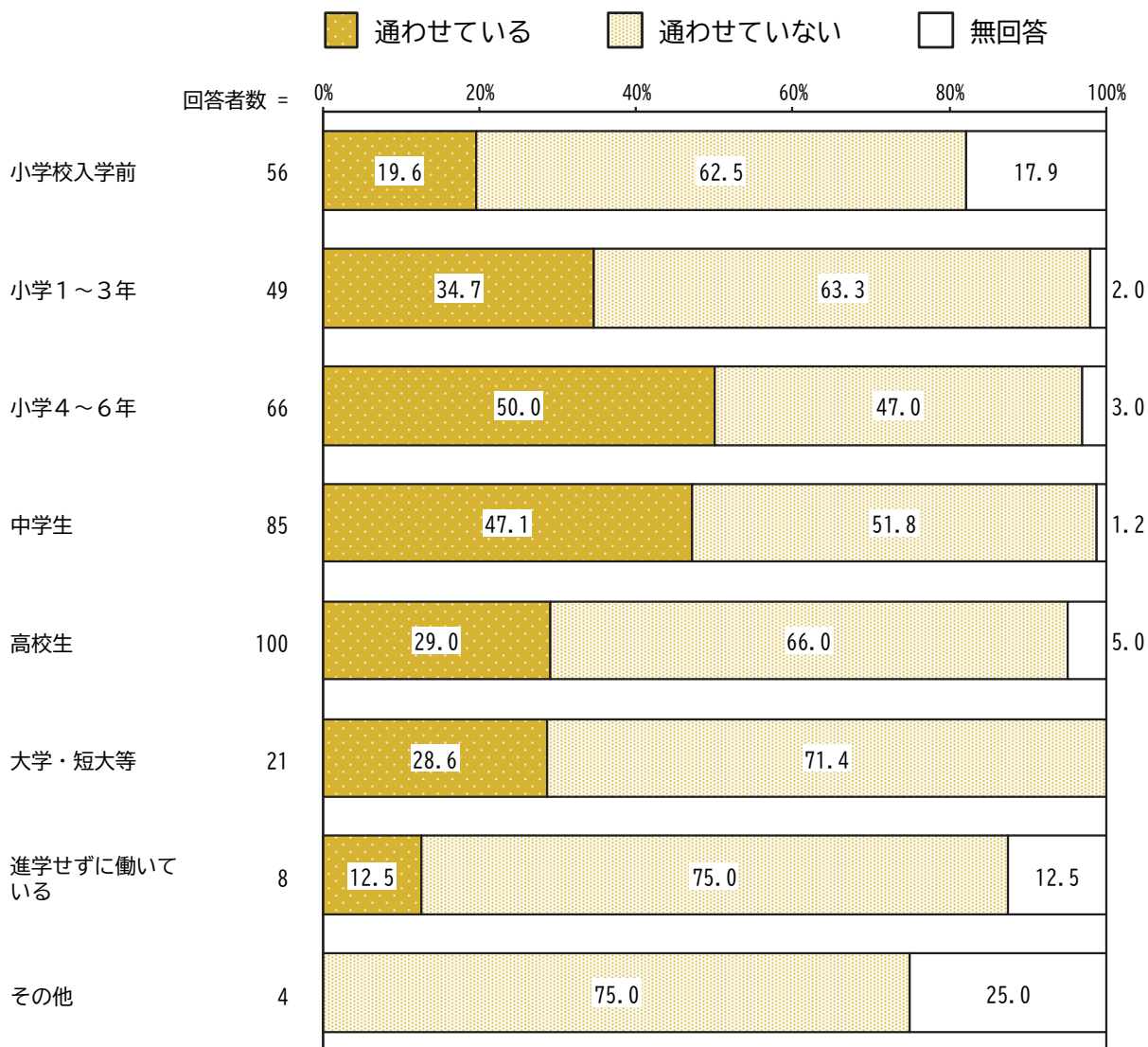
問 21 すべての方にうかがいます。お子さんは学習塾や習い事に通っていますか。
(あてはまるものすべてに○)

「通わせている」の割合が 32.8%、「通わせていない」の割合が 61.1%となっています。



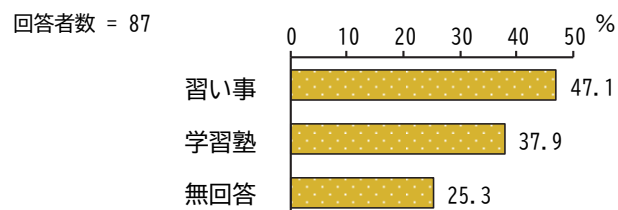
【子どもの学年別等】

子どもの学年別等（問 3）との組み合わせでみると、小学 4～6 年で「通わせている」の割合が約 50.0%となっている一方、中学生では、47.1%、高校生では 29.0%、となっています。



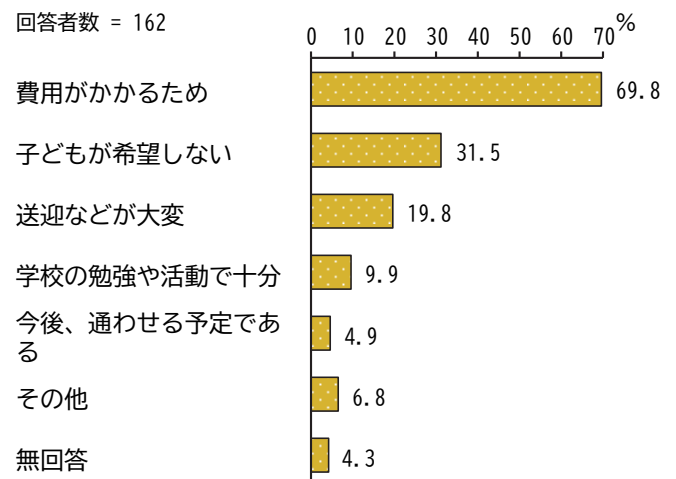
通わせている

「学習塾」の割合が 37.9%、「習い事」の割合が 47.1%となっています。



問 21-1 問 21 で「通わせていない」と答えた方にうかがいます。
通わせていない理由を教えてください。(あてはまるものすべてに○)

「費用がかかるため」の割合が 69.8%と最も高く、次いで「子どもが希望しない」の割合が 31.5%、「送迎などが大変」の割合が 19.8%となっています。



【子どもの学年別等】

学習塾や習い事に通わせていない理由「費用がかかるため」を子どもの学年別等（問 3）との組み合わせでみると、子どもが小学 1～3 年で 67.7%となっていますが、小学 4～6 年になると 96.8%となり、中学生になると 88.6%となっています。

単位：%

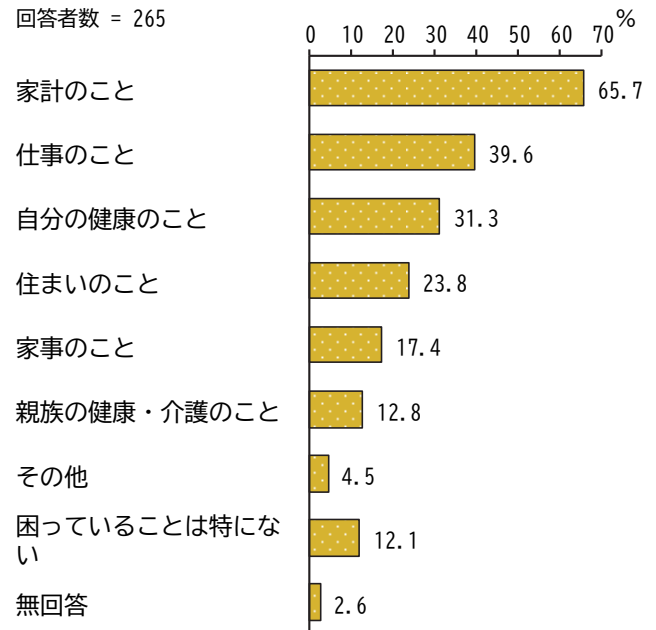
区分	回答者数 (件)	費用がかかるため	学校の勉強や活動で十分	送迎などが大変	子どもが希望しない	今後、通わせる予定である	その他	無回答
全 体	162	69.8	9.9	19.8	31.5	4.9	6.8	4.3
小学校入学前	35	60.0	5.7	25.7	22.9	17.1	8.6	2.9
小学 1～3 年	31	67.7	9.7	41.9	22.6	6.5	3.2	6.5
小学 4～6 年	31	96.8	3.2	29.0	35.5	—	3.2	—
中学生	44	88.6	2.3	15.9	29.5	2.3	2.3	—
高校生	66	66.7	19.7	10.6	34.8	—	7.6	4.5
大学・短大等	15	66.7	13.3	6.7	40.0	6.7	—	6.7
進学せずに働いている	6	16.7	—	—	50.0	—	16.7	16.7
その他	3	66.7	—	—	—	—	—	33.3

5 お困りのことについて

問 22 現在、あなたが困っていることはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「家計のこと」の割合が 65.7%と高く、次いで「仕事のこと」の割合が 39.6%、「自分の健康のこと」の割合が 31.3%となっています。

回答者数 = 265



【養育費の支払状況別】

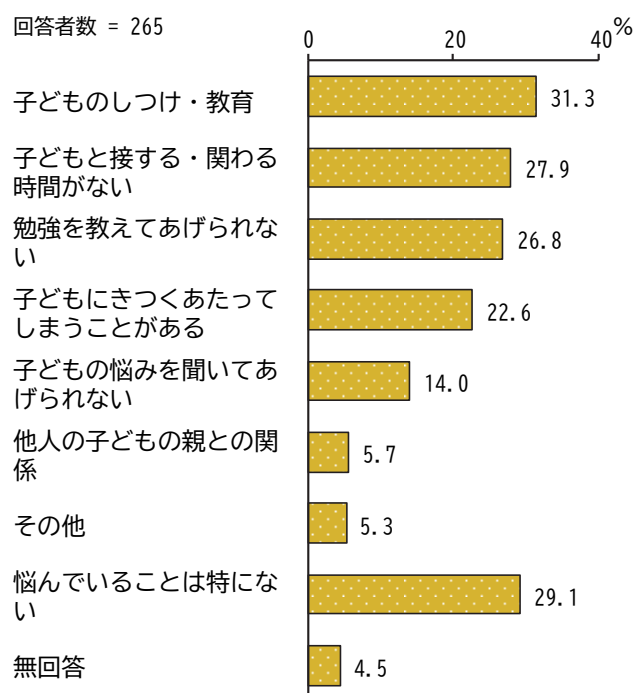
養育費の支払状況別（問 7-1）との組み合わせでみると、養育費の取り決めをしているが、支払われていないで「家計のこと」の割合が高く、82.6%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	住まいのこと	仕事のこと	家計のこと	家事のこと	自分の健康のこと	親族の健康・介護のこと	その他	困っていることは特にない	無回答
全 体	236	25.0	41.9	67.4	17.4	30.5	14.0	4.7	10.2	3.0
定期的に支払われている	56	28.6	48.2	57.1	25.0	26.8	21.4	5.4	14.3	1.8
不定期だが支払われている	9	33.3	33.3	77.8	22.2	55.6	22.2	—	—	22.2
取り決めをしているが、支払われていない	46	23.9	45.7	82.6	8.7	23.9	6.5	6.5	4.3	—
取り決めをしていない	81	19.8	38.3	65.4	13.6	28.4	13.6	3.7	12.3	3.7
請求できることを知らなかった	2	—	50.0	100.0	—	—	—	50.0	—	—
その他	29	31.0	41.4	58.6	27.6	51.7	10.3	3.4	6.9	—

問23 子育てや、お子さんとの関わりについて悩みはありますか。
(あてはまるものすべてに○)

「子どものしつけ・教育」の割合が31.3%と高く、次いで「悩んでいることは特にない」の割合が29.1%、「子どもと接する・関わる時間がない」の割合が27.9%、「勉強を教えてあげられない」の割合が26.8%、「子どもにきつくあたってしまうことがある」の割合が22.6%となっています。



【子どもの学年別等】

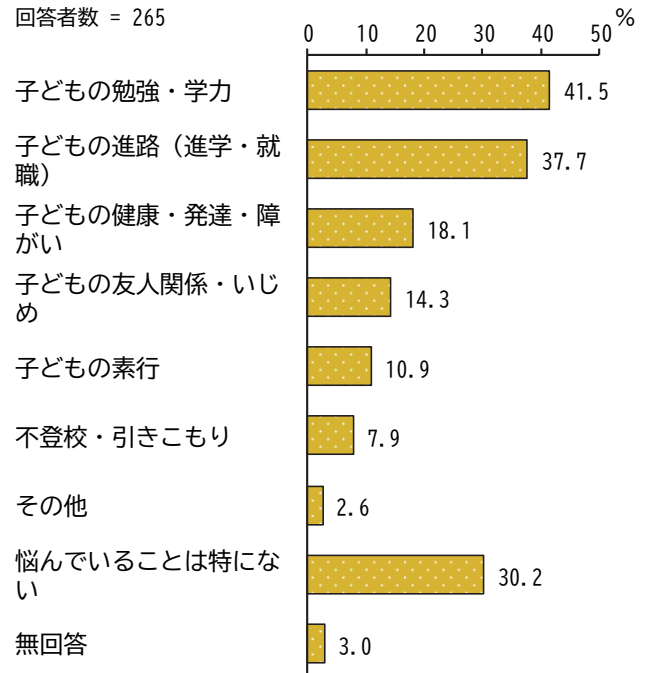
子どもの学年別等（問3）との組み合わせでみると、子どもの学年が低くなるにつれ「子どもにきつくあたってしまうことがある」の割合が高くなる傾向がみられます。

単位：%

区分	回答者数(件)	子どものしつけ・教育	子どもと接する・関わる時間がない	勉強を教えてあげられない	子どもの悩みを聞いてあげられない	子どもにきつくあたってしまうことがある	他人の子どもの親との関係	その他	悩んでいることは特にない	無回答
全体	265	31.3	27.9	26.8	14.0	22.6	5.7	5.3	29.1	4.5
小学校入学前	56	32.1	33.9	8.9	12.5	26.8	7.1	1.8	37.5	3.6
小学1～3年	49	34.7	32.7	26.5	16.3	38.8	6.1	2.0	26.5	2.0
小学4～6年	66	28.8	42.4	43.9	18.2	24.2	10.6	3.0	18.2	4.5
中学生	85	34.1	21.2	40.0	12.9	20.0	5.9	7.1	24.7	3.5
高校生	100	28.0	20.0	20.0	9.0	7.0	1.0	6.0	34.0	8.0
大学・短大等	21	19.0	28.6	9.5	4.8	4.8	—	9.5	33.3	9.5
進学せずに働いている	8	25.0	12.5	—	—	—	—	25.0	37.5	—
その他	4	—	25.0	25.0	25.0	—	—	—	50.0	—

問 24 お子さんのことでの悩みはありますか。(あてはまるものすべてに○)

「子どもの勉強・学力」の割合が41.5%と高く、次いで「子どもの進路（進学・就職）」の割合が37.7%、「悩んでいることは特にない」の割合が30.2%となっています。



【子どもの学年別等】

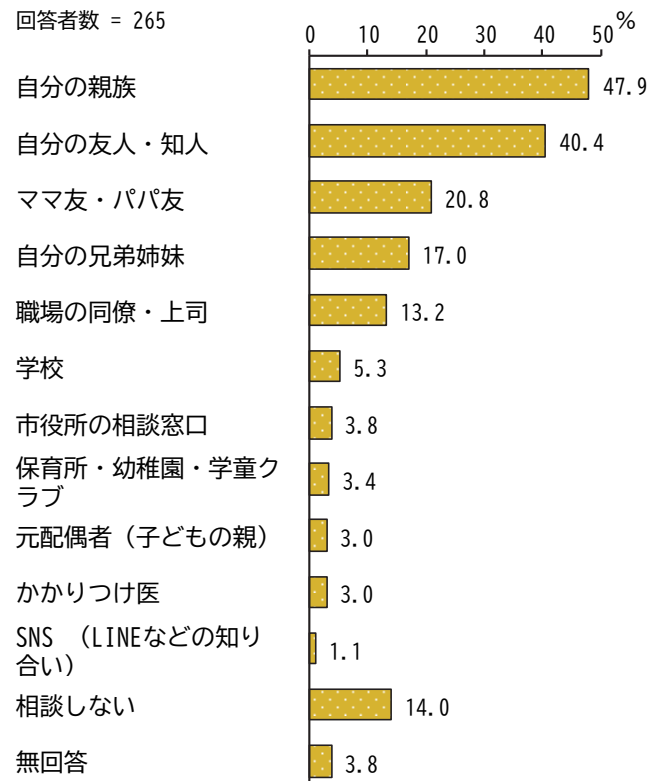
子どもの学年別等（問3）との組み合わせでみると、お子さんに関する悩みは、「子どもの勉強・学力」が小学4～6年で59.1%、中学生で58.8%と高い割合となっています。また、中学生で「子どもの進路（進学・就職）」の割合が高く、61.2%となっています。

単位：%

区分	回答者数(件)	子どもの健康・発達・障がい	子どもの勉強・学力	子どもの進路（進学・就職）	子どもの友人関係・いじめ	子どもの素行	不登校・引きこもり	その他	悩んでいることは特にない	無回答
全 体	265	18.1	41.5	37.7	14.3	10.9	7.9	2.6	30.2	3.0
小学校入学前	56	23.2	21.4	14.3	8.9	10.7	1.8	—	51.8	5.4
小学1～3年	49	20.4	42.9	18.4	22.4	18.4	4.1	2.0	34.7	2.0
小学4～6年	66	19.7	59.1	43.9	21.2	6.1	7.6	1.5	24.2	—
中学生	85	18.8	58.8	61.2	14.1	10.6	12.9	4.7	18.8	—
高校生	100	12.0	36.0	44.0	7.0	8.0	10.0	3.0	29.0	5.0
大学・短大等	21	14.3	38.1	28.6	19.0	9.5	4.8	4.8	38.1	4.8
進学せずに働いている	8	12.5	12.5	12.5	12.5	—	—	—	62.5	12.5
その他	4	—	25.0	—	—	—	—	—	75.0	—

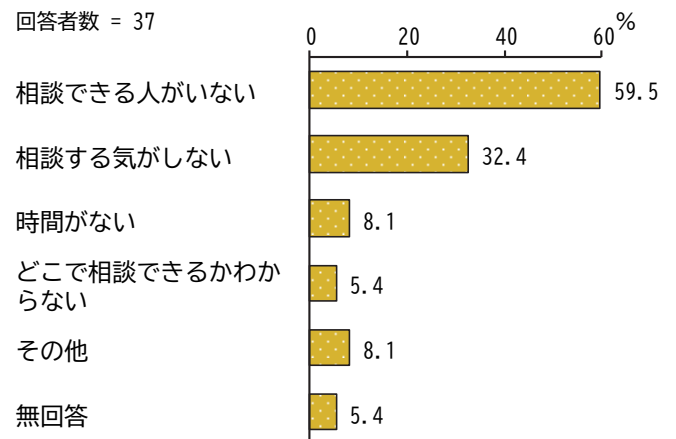
問 25 困りごとや悩みごとがあるときに、誰に（どこに）相談をしますか。
（3つまで○）

「自分の親族」の割合が 47.9%と高く、次いで「自分の友人・知人」の割合が 40.4%、「ママ友・パパ友」の割合が 20.8%となっています。



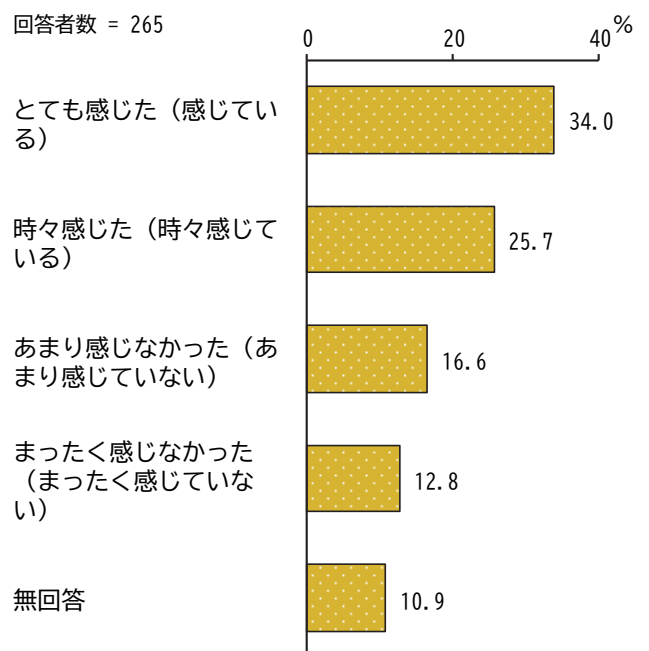
問 25-1 問 25 で「相談しない」と答えた方にかかっています。
 相談しない理由は何ですか。(あてはまるものすべてに○)

「相談できる人がいない」の割合が 59.5%と最も高く、次いで「相談する気がしない」の割合が 32.4%となっています。



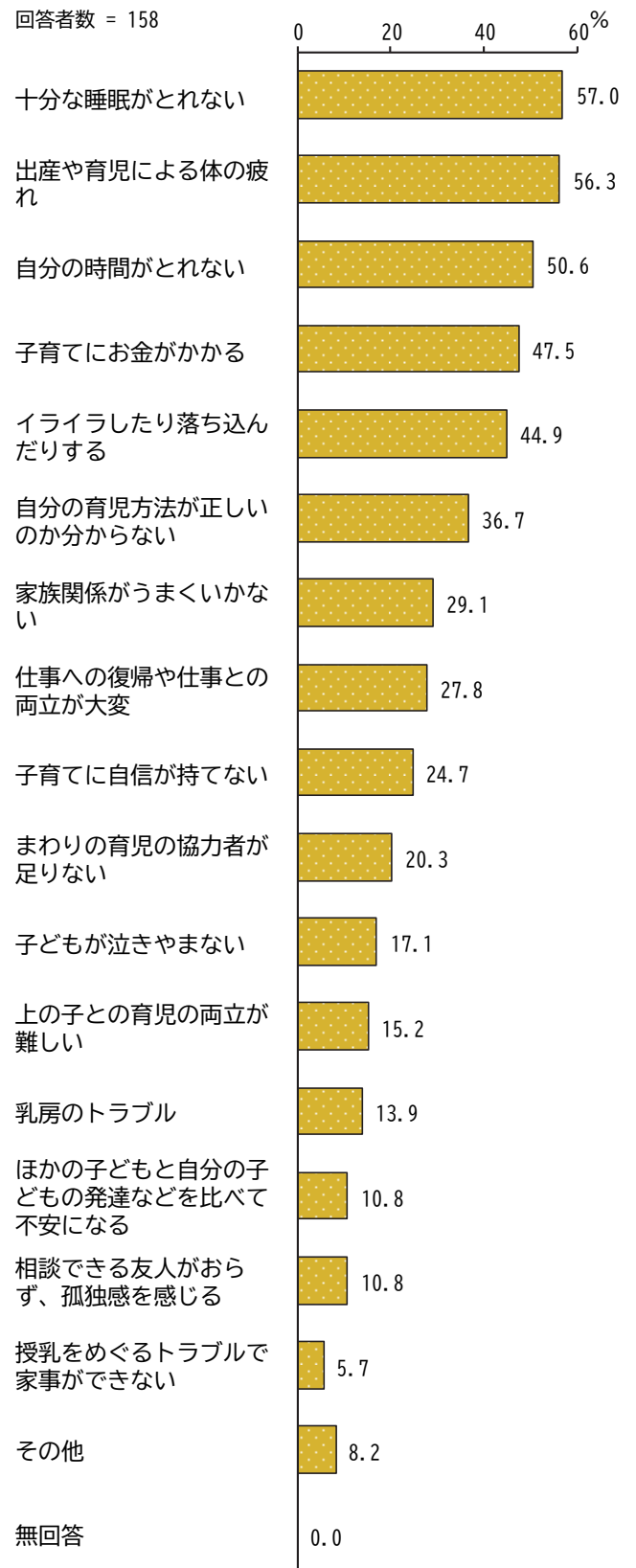
問 26 産後に不安や負担は感じました (感じています) か。(1つに○)

「とても感じた (感じている)」の割合が 34.0%と高く、次いで「時々感じた (時々感じている)」の割合が 25.7%、「あまり感じなかった (あまり感じていない)」の割合が 16.6%となっています。



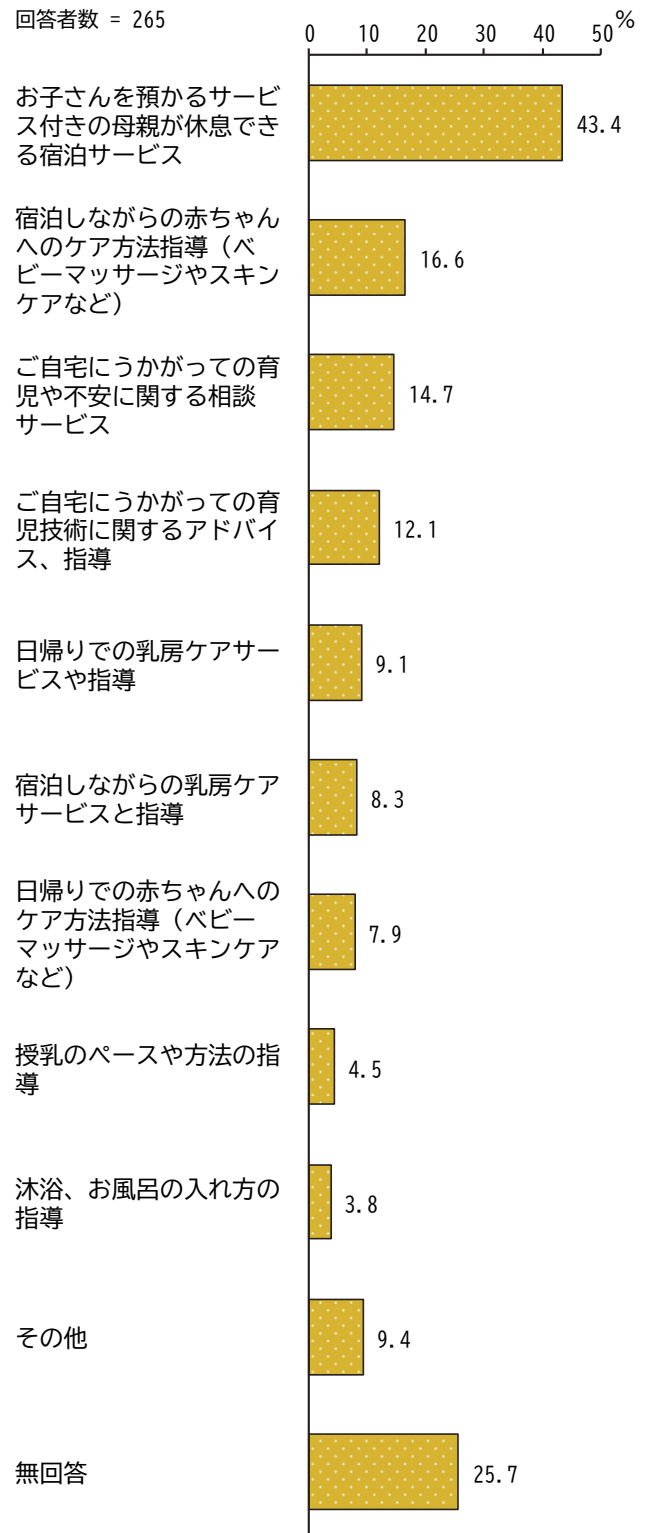
問 26-1 問 26 で「とても感じた (感じている)」「時々感じた (時々感じている)」と答えた方にうかがいます。
それはどんな内容ですか。(あてはまるものすべてに○)

「十分な睡眠がとれない」の割合が 57.0%と高く、次いで「出産や育児による体の疲れ」の割合が 56.3%、「自分の時間がとれない」の割合が 50.6%となっています。



問 26-2 すべての方にうかがいます。産後にどのような支援を受けたかった（受けた）ですか。（あてはまるものすべてに○）








「お子さんを預かるサービス付きの母親が休息できる宿泊サービス」の割合が 43.4%と高く、次いで「宿泊しながらの赤ちゃんへのケア方法指導（ベビーマッサージやスキンケアなど）」の割合が 16.6%、「ご自宅にうかがっての育児や不安に関する相談サービス」の割合が 14.7%となっています。



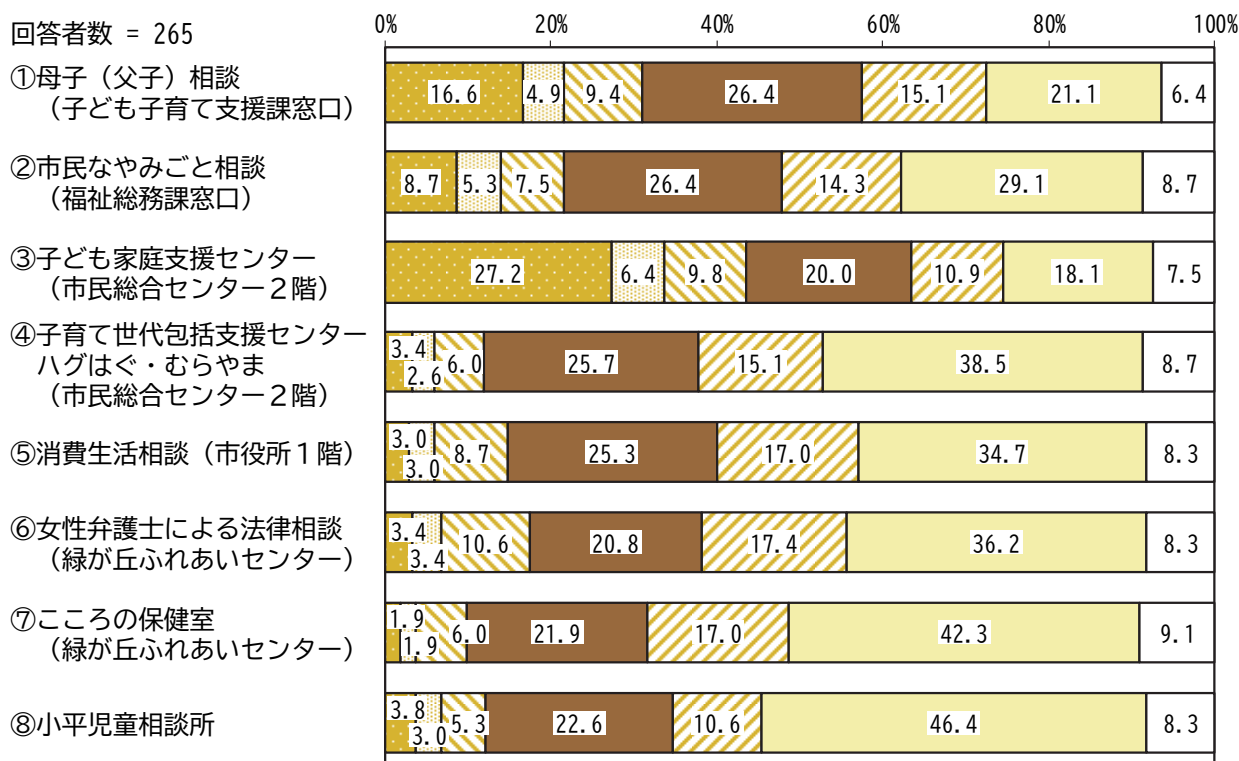
6 支援制度について








問 27 以下の支援制度についてご存知のものはありますか。また利用状況についてあてはまるものを教えてください。(①～④それぞれあてはまるもの1つに○)

『⑩児童育成手当（育成手当）』、『⑫児童手当』で「制度を知っていて、利用したことがあり、役に立った」の割合が、『⑪児童育成手当（障害手当）』、『⑬生活保護』で「制度を知っていたが利用したことがなく、利用しない（できない）」の割合が高くなっています。

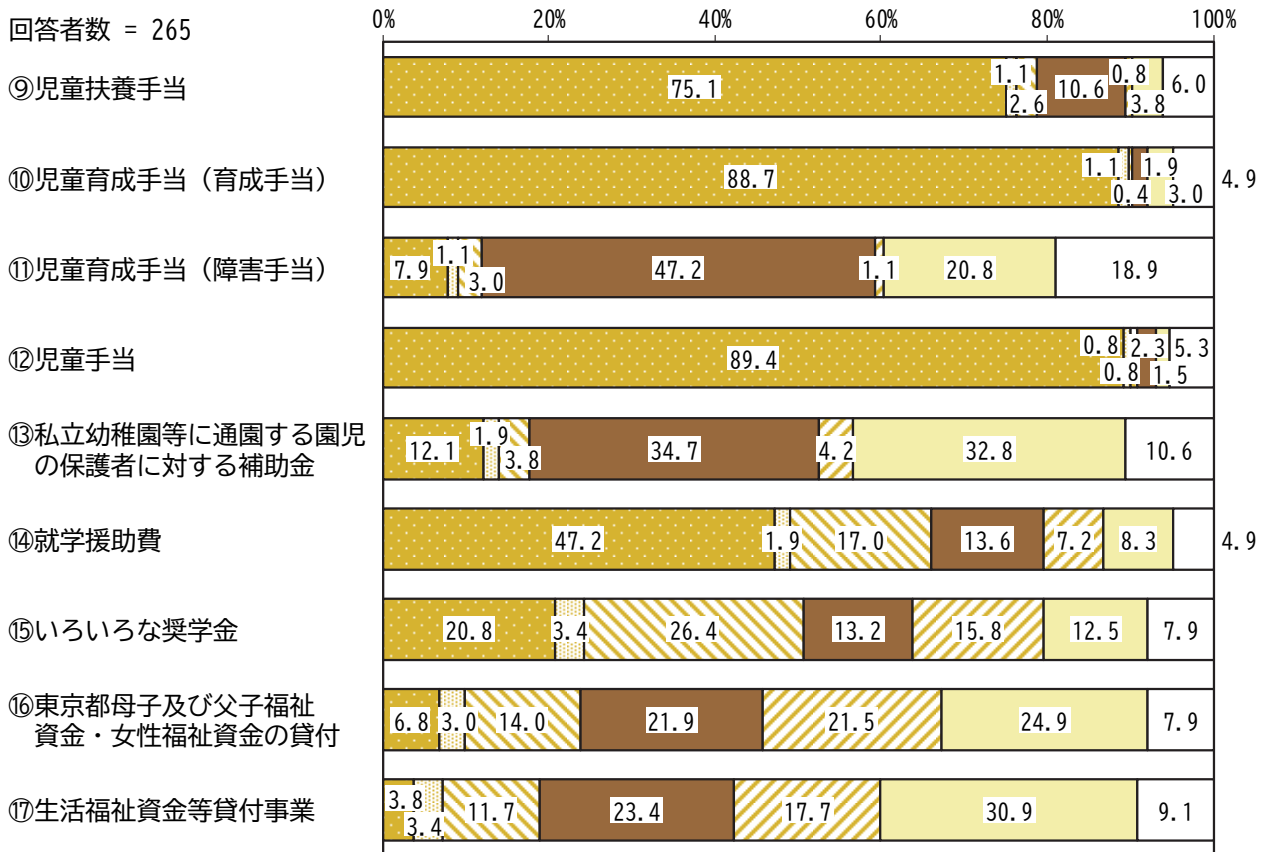
-  制度を知っていた・利用したことがある・役に立った
-  制度を知っていた・利用したことがある・役に立たなかった
-  制度を知っていた・利用したことがない・今後利用したい
-  制度を知っていた・利用したことがない・利用しない（できない）
-  制度を知らなかった・利用したことがない・今後利用したい
-  制度を知らなかった・利用したことがない・利用しない（できない）
-  無回答

回答者数 = 265

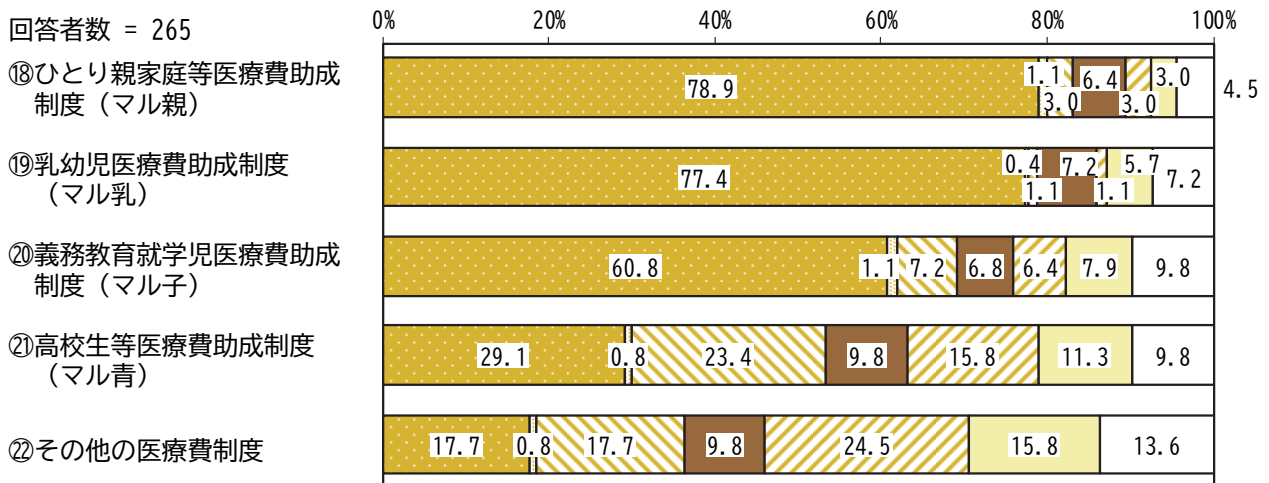









-  制度を知っていた・利用したことがある・役に立った
-  制度を知っていた・利用したことがある・役に立たなかった
-  制度を知っていた・利用したことがない・今後利用したい
-  制度を知っていた・利用したことがない・利用しない（できない）
-  制度を知らなかった・利用したことがない・今後利用したい
-  制度を知らなかった・利用したことがない・利用しない（できない）
-  無回答

回答者数 = 265

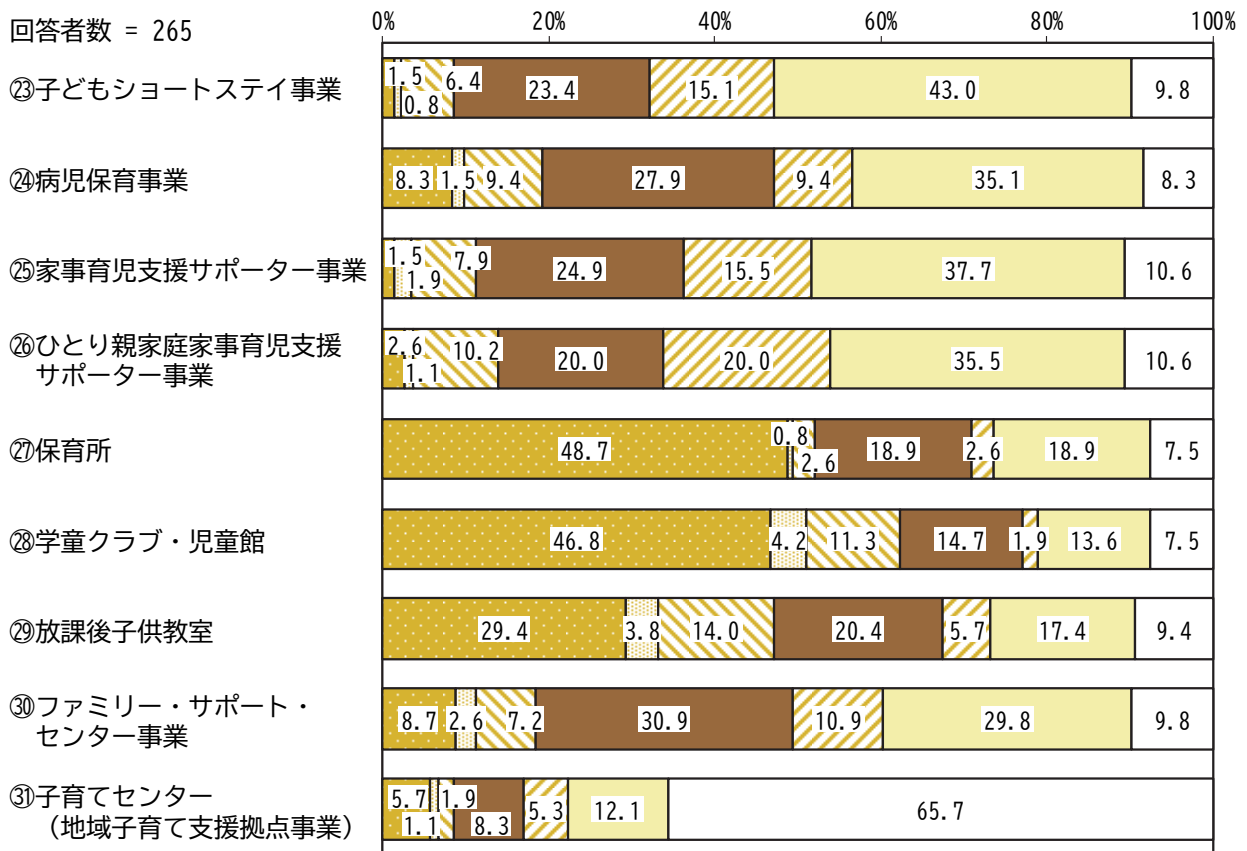


回答者数 = 265

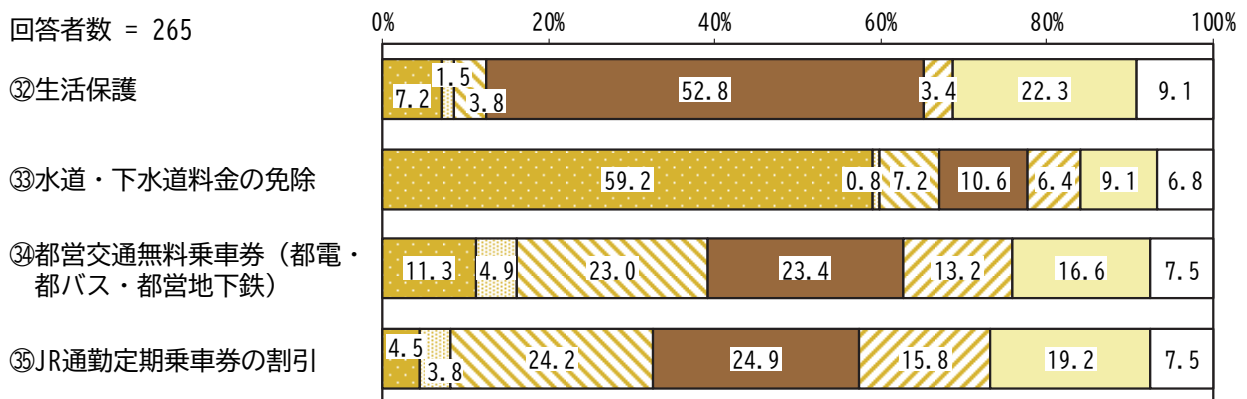









-  制度を知っていた・利用したことがある・役に立った
-  制度を知っていた・利用したことがある・役に立たなかった
-  制度を知っていた・利用したことがない・今後利用したい
-  制度を知っていた・利用したことがない・利用しない（できない）
-  制度を知らなかった・利用したことがない・今後利用したい
-  制度を知らなかった・利用したことがない・利用しない（できない）
-  無回答

回答者数 = 265

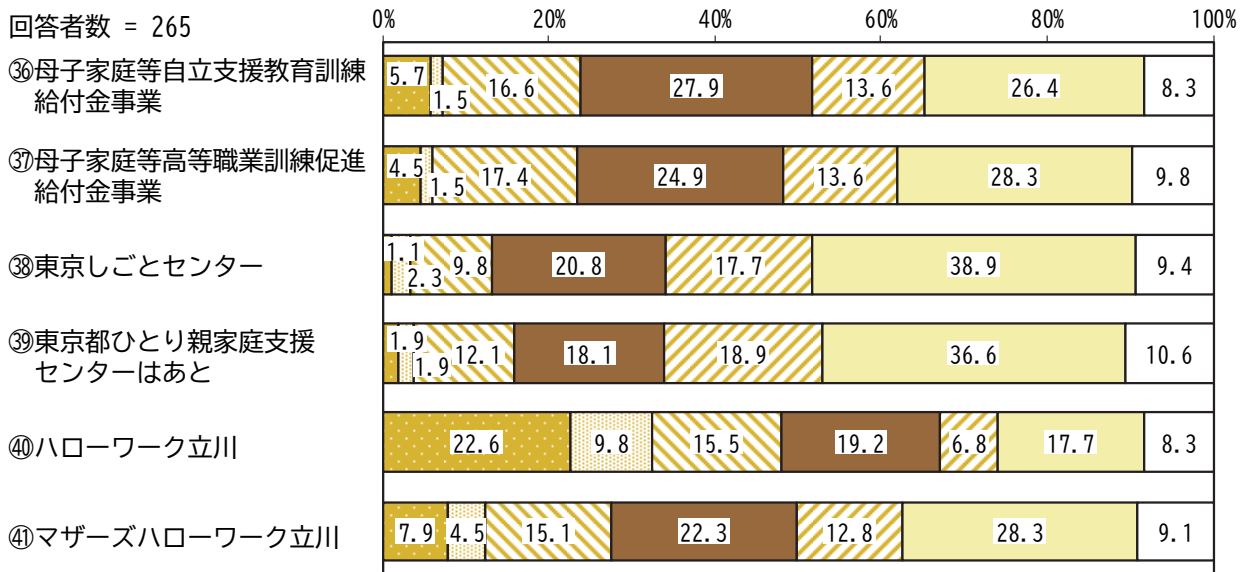


回答者数 = 265

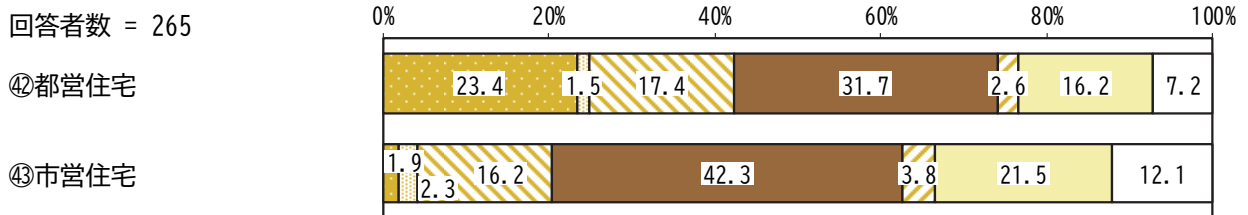


-  制度を知っていた・利用したことがある・役に立った
-  制度を知っていた・利用したことがある・役に立たなかった
-  制度を知っていた・利用したことがない・今後利用したい
-  制度を知っていた・利用したことがない・利用しない（できない）
-  制度を知らなかった・利用したことがない・今後利用したい
-  制度を知らなかった・利用したことがない・利用しない（できない）
-  無回答

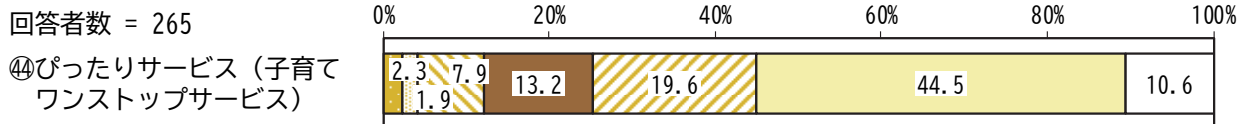
回答者数 = 265



回答者数 = 265



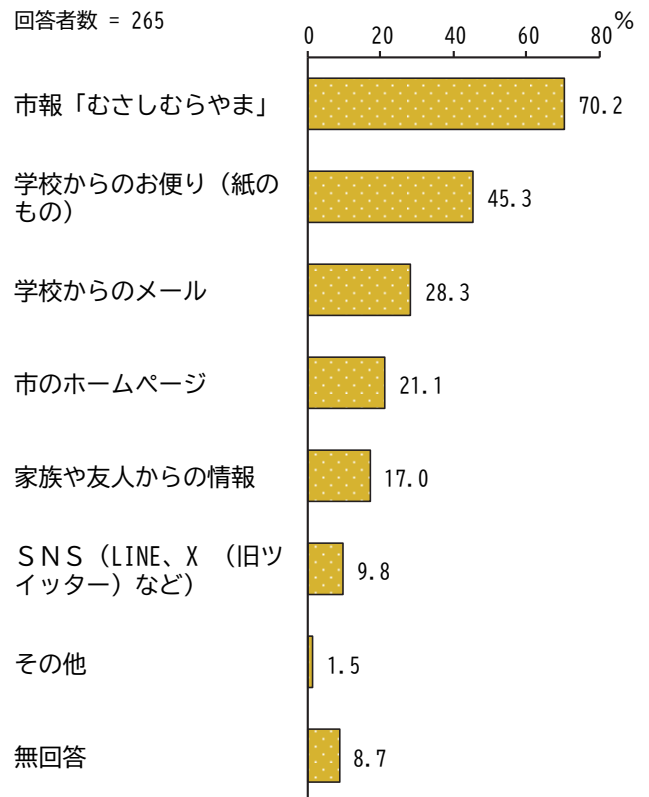
回答者数 = 265



問 28 子どもに関する市の施策や行事などの情報をどう方法で受け取っていますか。また、今後、どう方法で受け取りたいですか。
 (A、Bそれぞれあてはまるものすべてに○)

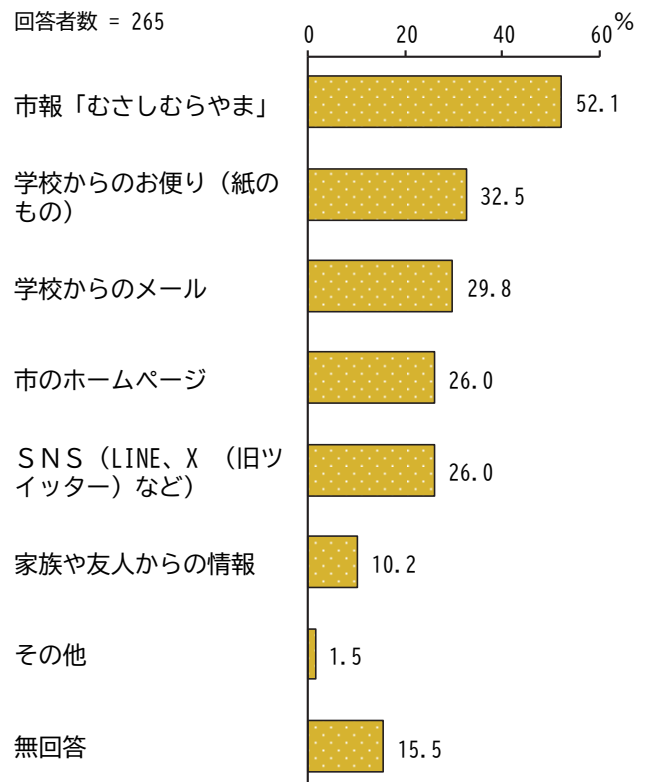
A 現在の受け取り方法

「市報「むさしむらやま」」の割合が 70.2%と最も高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が 45.3%、「学校からのメール」の割合が 28.3%となっています。



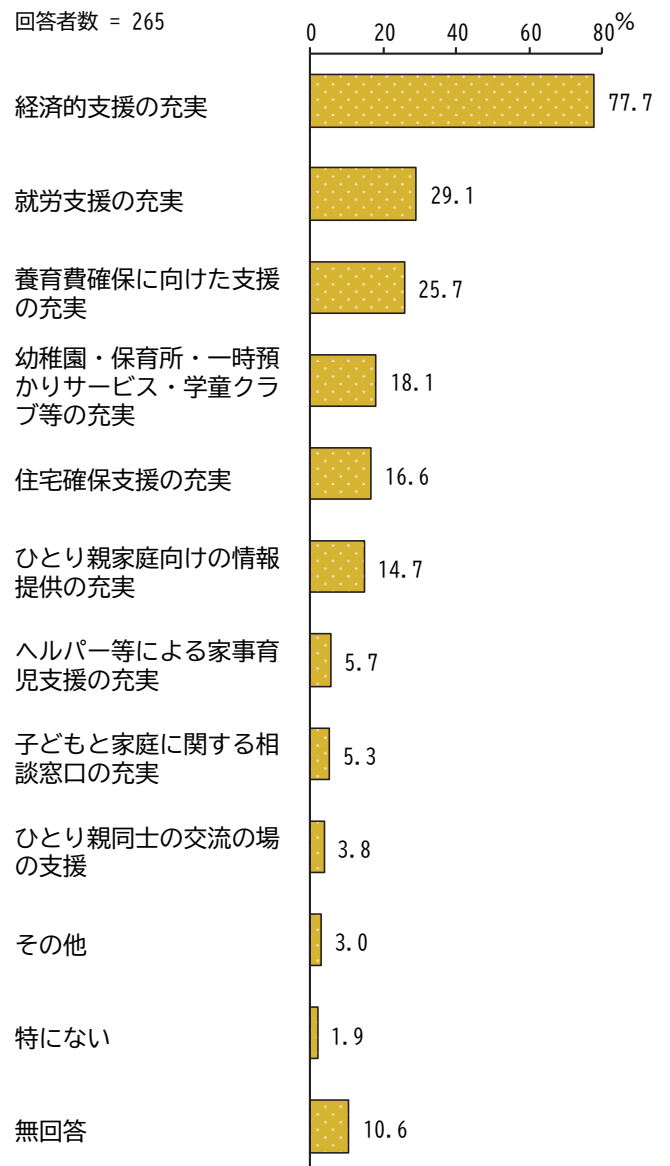
B 今後、受け取りたい方法

「市報「むさしむらやま」」の割合が 52.1%と最も高く、次いで「学校からのお便り（紙のもの）」の割合が 32.5%、「学校からのメール」の割合が 29.8%となっています。



問 29 今後ひとり親家庭への支援について、必要と思うものはどれですか。
(3つまで○)

「経済的支援の充実」の割合が 77.7%と最も高く、次いで「就労支援の充実」の割合が 29.1%、「養育費確保に向けた支援の充実」の割合が 25.7%となっています。



IV 主な自由意見

問 30 その他、悩みや不安、必要と感じる支援、ご意見・ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

1 生活・住まいについて

- ・子どもが大きくなって手当が無くなったら家賃が払えない。
- ・物価高、両親の介護で引越しするしかないが、ローン残高がある。
- ・児童扶養手当が10月で13万円オーバー、支給されなくなった。元夫の借金返済や養育費もほとんど貰えていなく、10月から0円で、厳しくなった。
- ・アパート、マンションの家賃免除はあるか？家賃が高いし、収入から支払うのはきつく、免除してくれるとありがたい。
- ・都営は安くていいが、人と人との関わりが面倒。けれど、普通に借りると高いのでひとり親家庭が、もっと借りやすくなる制度があると助かる。
- ・物価が高く、光熱費も高いため、生活が苦しい。節約はしているが、両親がいる世帯からすると低い水準。食べざかりの子どもには食費がかかってしまう。
- ・国立市の様に、家賃補助があれば良いと思う。
- ・賃貸の更新時の料金、光熱費の値上りで辛い時がある。
- ・家屋の老朽化に伴う費用の捻出。
- ・家賃が収入の約半分を占めてしまう。冬、夏の光熱費が大きい。
- ・母親、娘の2人家庭なので防犯が気になる。
- ・とにかく物価も高くなり、進学や通学等にもお金かかり生活が安定しない。生活は苦しくなるばかり。

2 就労について

- ・雇ってくれるところが少ない。
- ・大学に行かせるために頑張って稼いでいるけど、稼げば稼ぐだけ税金で取られる。本当に悪循環である。そのため一番下の子は高校に行けない。
- ・定年間近で収入激減する可能性。
- ・長期休みのとき、仕事をしなくてはいけないのが、実父母だけに頼りきりなのは、大変。
- ・自分に合っていない仕事をしているが収入が減ってしまうため、なかなか辞められず、ストレスをためて、子どもにあたってしまう。仕事を紹介してほしい。
- ・残業しないと収入が増えないが帰宅時間が遅くなる。
- ・収入によって、児童扶養手当を減らされるのも、どうかと思う。ひとり親家庭で働かないと、いけない状況なのに、一定の金額を超えると減らされるのは、働きにくく、調整も難しい。
- ・最低賃金が上がっていて、物価も上がっている。児童扶養手当の要件を調整していただきたい。一部支給になってしまうのが残念。
- ・子どもが病気などでも休みやすい職場がもっとほしい（子育ての理解ある職場）。

3 子どもの教育について

- ・ 学費がかかる。
- ・ 大学進学での費用、将来返済が不安。
- ・ 高校生となり、学習、学力の向上のために、受験生チャレンジ支援のような制度が1年生2年生も対象となる支援を希望。
- ・ 子どものメンタルや親の不安を専門の方に相談できる場があると嬉しいなど感じる。総合的に聞いてくれる方がいたら良いのと思う。
- ・ 家庭で勉強を教えてあげられる時間がとれない。
- ・ 塾に通わせたいが、費用が高すぎるためできない。学校で、放課後や土曜日とかに何か教えてくれるサービスがあると良い。
- ・ 塾などにお金をかけられず、子どもの希望に答えてあげられない。チャレンジは受験の時しか援助がないのでひとり親家庭には受験する前にも援助してほしい。
- ・ 義務教育より、働くための勉強を色々選ばせてあげたいと思う、スクールは立川等に行かないと無いので、近くにあったら良いと思う。
- ・ 父親がいない事で、高校生男子2人に厳しくする事が難しい。もう少し勉強して欲しいと日々思っているが伝わらない。
- ・ 費用がかからない程度でサポートあったら幸い。

4 その他

- ・ 不安だらけ。
- ・ 確実に収入が減るが会社は副業禁止で身動きが取れず。退職金制度はなし。東京都の最低賃金をクリアしていない会社の給料はどうなっているのか。
- ・ 元配偶者からの暴言を無くしたい。
- ・ ゴミ袋も非課税世帯だけでなくひとり親家庭なら支給してほしい。
- ・ もっと子どもを育てるお金が必要。毎月足りない！
- ・ 高校で不登校になり、受診先をどこにしたら良いのか？とても悩んだ。娘は不登校を治療するため受診しているが、カウンセリングはお金がなくて受けられない。とても辛い。
- ・ 掃除、片付けが苦手です。家事代行サービスに依頼しようと思った。市内で、そういうことを依頼できる所があると嬉しい（アドバイスや手伝いが欲しかった）。
- ・ ひとり親家庭の女性を市役所などで働けるようにしてほしい。ひとり親家庭で子どもがいたら、雇ってくれない会社が多いので、働く場所がない。

武蔵村山市
ひとり親家庭ニーズ調査報告書

発行年月：令和6年3月

発行：武蔵村山市

編集：武蔵村山市 子ども家庭部 子ども青少年課
子ども子育て支援課

〒208-8501

東京都武蔵村山市本町一丁目1番地の1

電話：042-565-1111（代表）

